

## ●目 次●

# アイチ士業ネットワーク 10周年記念誌

---

会長ご挨拶	弁護士	山田 洋嗣	2
初代会長ご挨拶	公認会計士・税理士	石田 昌宏	3
ASNと共に歩んだ10年間	税理士	志水 正芳	4
ASNの「私の歴史」を振り返って	社会保険労務士	浅野真理子	5
レク・イベントに参加して	土地家屋調査士	二村大次郎	6
ありがとう！ASN	税理士	藤本佐知子	7
歴代会長による、年度ごとの出来事紹介			8
MF・研究会・同好会の紹介			15
	土地家屋調査士	佐原 法人	15
	弁護士	松田 太源	16
	税理士	浅野 哲司	17
	不動産鑑定士・税理士	樋沢 武司	18
	司法書士	堀田 泰司	18
	行政書士	長縄 光恵	19
	弁護士	櫻井 博太	20
	弁護士	正木 健司	21
	税理士	安藤 雅康	22
	司法書士	鬼頭 大介	23
	行政書士	田中 聡	24
	弁護士	鈴木 和貴	25
	税理士	曾山 辰実	26
	社会保険労務士・行政書士	澤木 平治	27
	社会保険労務士・行政書士	岩瀬 秀幸	28
	不動産鑑定士	李 明 源	29
	不動産鑑定士	田井 能久	30
	行政書士	林 宏美	31
	社会保険労務士	重谷 一郎	32
	司法書士	伊藤 宗利	32
	社会保険労務士	大森 茂樹	33
	司法書士	林 秋彦	34
	弁理士	小林かおる	34
	税理士	鳥居 翼	35
歴代会長座談会			36
ASN公式サイトの変遷			47
ASN年表			48
編集後記			51

## 会長ご挨拶

アイチ士業ネットワーク会長  
弁護士 山田 洋嗣

本年度、アイチ士業ネットワーク（以下「ASN」）の会長を務めさせていただいてます、弁護士の山田洋嗣です。

会長とは言っても、私がASNに入会したのは、わずか4年前のことですので、会員歴の古い方の中には、私のことを知らない方も多くいらっしゃるかもしれません。

私が入会した当時は、会員数もそれほど多くなく、総会等の全体行事でも、参加者は知った顔がほとんどという状態だったようです。それが現在では、ずいぶんと会員数も増え、幅広い会員の方々にご参加いただけるようになっています。

ASNが現在のように発展することができたのは、会の基礎となる規約やミニフォーラム（以下「MF」）等の仕組みを築いてこられた創設メンバーの方たちはもちろんのこと、その後の運営、その時々を生じる様々な問題への対処を、日常業務が忙しい中、まさに手弁当で行ってこられた歴代理事・幹事の皆様や、会に参加して下さった多数の方々のご尽力のおかげだと思っております。この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、私はASNに入会し、この4年の間に縁あって、労働問題研究会代表幹事、事務局次長、副会長、会長と、多数の役職を経験させていただきました。そして、これらの活動を通じて、仕事の面でもプライベートの面でも親しくしていただいている他土業の友人が多数できました。

また、MF・研究会で開催された勉強会では、自分が専門とする業務分野に関する周辺知識を学ばせていただいたり、他土業の方の体験談を聞くことができ、そこで学んだことが実際に仕事を行う上で大変役に立っています。

このようにASNの良さは、本来は孤独な存在である我々土業が、MF等の活動を通じて知己を得て、ときには仕事の憂さを晴らせる場所となり、また、その延長線上に顧客サービスの向上を伴うことが出来るという点にあるかと思えます。

ASNのこのような良さを、今後ますます発展させていくべく、私たち本年度の執行部は、会員数が急増している現在の過渡期的な状況を踏まえ、会員規模に相応しい全体行事のあり方、会の運営方法等の検討、協議を進めています。



さらに、会の創設から10年が経過し、「古くからいる会員にとって、参加できる場が少なくなっているのではないか？」というご指摘を踏まえ、「今後、新旧会員の交流をどのように図っていくべきか」という点についても、取り組んでいくべき重要な課題であると認識し、現在改善策を検討しているところです。

今後も20年、30年とASNが発展していくことが出来るよう、短い任期ではありますが、本年度執行部の全員が力を合わせ、会のために尽力する所存ですので、会員の皆様におかれましては今後ともASNの活動に、ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、このような機会を作っていただいた、10周年記念事業実行委員会の皆様のご尽力に深く感謝いたします。



平成21年9月12日 白馬岳にて  
筆者・山田智博さん・鬼頭大介さん  
撮影者 長縄光恵さん

## 初代会長ご挨拶

ASNの活動が10年を超えた今でも、会員数は増え続け、また運営も組織的に充実するなど成長を続けており、発起人である私としては本当にうれしく思っております。

元々は第4回自由業フレッシュマン・フォーラム（FF）に出席した際に、同じテーブルになった方々が中心になって、二次会に行ったのがASNの始まりです。

そこで「今後も定期的集まろう。その際には飲み会だけでなく勉強会も行おう」という話が出て、私が世話役として動き出したのが平成10年夏のことです。その時は第4回（Fourth）FFと、Fが3つ続くことからF3フォーラムという名称を使っていました。

F3フォーラムには不動産鑑定士がいなかったため、その勧誘のために第5回FFにも参加しました。しかし、目論見は上手くいかず、前年と同様に同じテーブルの方々を中心とした交流会が新たに始まることになってしまいました。私にとって2つめとなる、この交流会に付けた名称が実はASNなのです。

あいうえお順で有利な“愛知”で始まる名称に魅力を感じる一方で、活動範囲を愛知県に限定したくないとの想いから、間をとって“アイチ”。公的組織との誤解を与えないように配慮して“ネットワーク”。あとは“土業”を間に挟めば、“ASN”という語感の良い略称が使えろと考え、アイチ土業ネットワークと命名しました。

この名称には、交流会が今日のように成長していくことを想定し、それに相応しいものを付けたいという気持ちを込めました。というのも、他にも同様な土業交流会が多々あるという話を常々耳にしており、土業交流会というものへのニーズは非常に高いと感じていたからです。

平成11年11月のASNは、上記2つの交流会による合同開催としました。出席者は30名以上にもなったため、自己紹介と今後の活動方針に関する簡単な意見交換（&飲み会）しか出来ませんでした。

「人数が増え過ぎると収拾が付かないので、今後は別々に開催したい」との意見も出しましたが、とりあえず名刺交換会は大々的に

初代会長・10周年記念事業実行委員長  
公認会計士・税理士 石田昌宏

開催したいという気持ちから、次回のASNを新年会として開催しました。

第3～5回のFF参加者名簿を元に案内状を発送し、今は無くなってしまった毎日ビルの国際サロンを借りました。当日の参加者は約90名の大盛況となりました。ロコミでの申し込みも多く、ASNの会員数は約150名に膨れ上がりました。

さすがに、いつも大人数を集めるのは負担となり、また多すぎる集団は収拾が付かなくなりますので、今後は小グループに分かれた活動の集合体として運営した方がよいというアイデアを思いつきました。

そこで参加してくれた皆さんに「次回のASNはミニ交流会を、火、水、木、金と4回行いますので、都合がよい曜日に参加してください」と呼びかけました。それが今日まで続いているMF1、2、3、5の始まり（MF4は最初から欠番）です。

私は平成12年の4月から、金融証券検査官（公務員）としての勤務が決まっており、一般的な土業の業務から離れることとなってしまったため、私が世話係を努めなくても会が動くよう、多くの方々へ協力いただきながら、役割の分担を進めていきました。

また、ASNが個人の主催する交流会だと思われることは、会の発展に好ましくないと考え、運営ルール等に工夫をこらしました。このルールを平成14年に文章化したものが、概ね現在のASN規定になっております。

さて、初期のASNについてご紹介してきましたが、最近では私自身が会にあまり参加していないこともあり、随分昔のことを書いているように感じています。いずれにしても「価値のある仕組みを創造したい」という想いが、今このような形で実現されていることで、私自身も満たされた気持ちでいます。

これも今までお世話になりました皆様方のおかげであり、ありがたく思っています。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



## ASNと共に歩んだ10年間

税理士 志水正芳

早いもので平成12年2月の国際サロンでの新年会から10年が過ぎました。その翌年に独立して十分な時間があつた私は、ASNの会合によく出ささせていただきました。他にも同様の集まりはあつたのですが、どうしても閉じた世界になりがちで、発展性のなさに興味を持ってませんでした。そんな中、ASNが進もうとしている方向性には、とても共感できました。時代も求めていたものだったと思います。

他士業、同業の多くの人と知り合うことができる場を提供することは、自分にとっても、また多くの同じような立場の人にとっても大変有意義なことだと思い、必要性を強く感じました。どのような仕組みが良いのか、どうしたら平等に進めていけるのか、どうしたら参加しやすくなるのか、どうしたら・・・と、よく話し合い（飲み）ました。

全体組織の理事会と幹事会が出来て、合同で行う形でスタートしました。ただ、独立意識の強い士業のみなさんにとっては、全体に縛られるのは嫌だったようで、あまり受けは良くなかったように思います。それは現在も同じではないでしょうか。

最初はMFの数も少なく、自分のMF以外にもよく参加しました。濃い人ばかりが集まったMFとか、飲み会大好きなMFとか、結構それぞれ個性があるものだなあと感心しました。事務局長の時に、案内文の封筒詰めを子供（小学生）に手伝わせたことがあつたのですが、今でも当時の事を子供に言われることがあります。

MFは顔の見える人数で自主的な運営をしていたため、幹事の任期がバラバラになり、幹事会の運営がスムーズにいきませんでした。そのため、全体組織とリンクする代表幹事と、MFの運営を中心に活動する運営幹事の二つに分けることになりました。この案は実効性があってよかったと思っています。また幹事さんを2人にすると、幹事になる機会が増え、積極的に関わっていただける方も増えるという相乗効果もありました。

MFは異業種、異年代、異地域の交流の場としての幅広い集まりでしたが、それだけでなく「研究対象を決めた集まりも必要では」

ということで、多くの士業が関わる「FP研究会」を立ち上げました。参加者の目的は、「FPに興味がある」「FPを仕事に生かしたい」「資産運用で儲けたい」と色々ありました。多くの人々に支えられ、ご尽力いただき、現在も盛んに続けられていることに、とても感謝しています。



ほとんどの士業の方は地域密着型だと思えますが、名古屋に集まるだけではなく、各地域でも同様の集まりがあると有益さがさらに増すように思い、地域フォーラムの設立に力を入れました。

最初は、尾張Fと三河Fが出来、その後、岐阜F、三重Fと続きました。三河Fは岡崎と豊橋に地域が分かれ運営が大変難しかったのを覚えています。当時の幹事さんのご苦労が偲ばれます。岐阜Fは初代幹事さんのお人柄で早く軌道に乗り大変感謝しています。また、三重Fでは初代幹事さんと2人で開拓に行った時のことが忘れられません。今は三重Fも皆さんのおかげで盛況になり良い思い出です。地域Fの発展は、これからのASNに必要なだと思います。たまには名古屋を離れて飲むのもいいもんですよ。

私もASNでは古い会員となり、年齢も上の方になります。最近では古くからいる会員さんが参加しにくいということが言われています。以前、元会長の弁護士さんが「我々は会員であつてOBではない」という話をされていました。1年という短期間で執行部が代わっていくことで、どうしても頼みやすい人、若い人をお願いしてきた結果ではないかと思えます。1年の任期では短か過ぎないか、理事会と幹事会の本来の姿はどうあるべきか、会員一人一人が参加しやすい新たな仕組み作りが求められているように思います。

大人数となり舵取りも大変とは思いますが、これからもASNを通じて、みんなで楽しく過ごせるように、みんなで考えていきましょう。これまでの10年間多くの人と知り合い楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。そして、これからもどうぞよろしくお願い致します。

## ASNの「私の歴史」を振り返って 社会保険労務士 浅野 真理子

「ASNの歴史を振り返って」と文章の依頼を受けた時に「あれ?何年に入会したっけ?」「幹事や理事をやったのはいつ?」と記憶が定かではなく、何か資料が残っていないかと探してみるといくつか出てきたので、それを元を書いてみたいと思います。

私は平成8年1月に開業登録をしました。当初は事務所に所属して勤務のような形を取っていましたが、平成10年7月に独立し、平成12年6月の第6回フレッシュマンフォーラムに参加しました。(そのときの参加者名簿が残っていました。今もASNで交流のある、あの人の人の名前がいっぱいで、ここが始まりだったんだと懐かしく見入ってしまいました。)

その後、ASNから案内をいただき、平成12年8月の名刺交換会に参加しました。その頃はASNと言っても「何?変な団体じゃないよね。」という感じで、不安もありながら参加したことを覚えています。その時の参加者が私を含めて17名と会計士の石田さんでした。(参加者の名前と資格名を書いたメモが残っていました。みなさんの顔と名前を覚えようとしていたのだと思います。)

その年の11月にも説明会があり(当時の手帳より)、この時に「好きなMFに入ってください」と言われて、たまたま近くにいた輪の中に入ったら、それが現在も参加しているMF1でした。(石田さんからも説明がありましたが、MF1だからと言って一番古い訳ではありません。)

その後は、積極的にMFや全体行事に参加するようにしていましたので、親しくできる人も次第に増えてきました。ある時の懇親会だったと思いますが、平成15年度の会長だった会計士の鷲野さんに「理事やる?」と言われて「えっ?」と問い返したときには、もうレクの副委員長になっていました。(今でもその時のレク委員会のメンバー5名とは、特に親しく交流が続いていて、必ず年に3回は会う機会を設けています。)

平成16年度には事務局長をやりました。会長が弁護士の可児さん、幹事長が税理士の浅野哲司さんで、初めて三役全員がASN創設メ

ンバー以外となり「ASNが組織として継続していくためには、この年の運営に掛っている」と緊張した覚えがあります。



その頃は、幹事の交代時期がバラバラで連絡が行き届かなかったため、代表幹事・運営幹事をASNの年度に合わせて選任することを決めたのも、この年でした。

エルFの立ち上げ当初は「レディースF」と呼んでいたため、暴走族みたいと言われてしまい、みんなで名前を考え「エルF」と名付けました。その後、エルFの3代目幹事をやらせてもらいました。FP研究会は税理士の志水さんから立ち上げに誘われ、こちらの幹事も多分3代目(?)を務めました。

こうして昔を振り返りながら文章を書いていると、とても懐かしく思いますし、また、その交流が今も続いていることに、とてもうれしく心強さを感じます。

ASNに入会したことで、仕事の面でも遊びの面でも、大きな輪ができたことが一番の収穫です。何より、みんなの活躍が刺激になって、今日まで私も仕事を続けることができたのだと思います。最近ではASNの全体行事にはほとんど参加していませんでしたが、改めて大切な場所なんだと感じています。

ASNがもっとたくさんの人にとって大切な場所になるためにも、今後も存続していかなくてはなりません。理事・幹事は単年度ですが、その年その年のメンバーが自らにとって得るものがあるように活動していけば、必ず次に続いていくものだと思います。

また、運営に関わることは大変だけれども、私もそうだったように見合っただけの得るものが必ずあります。みなさん、尻込みせず引受け、一度は経験してみましょね!



## レク・イベントに参加して

土地家屋調査士 二村大次郎

ASNに入会させていただいて早や9年が経ちました。この間にイベント委員、レク委員を合わせて5期勤めさせていただきました。ここにて得られた友人と経験が、自分にとってどれほど大きなものだったかは、今思うとはかりしれません。

初めて企画に参加したイベントは、平成15年度のミステリー・バスツアーでした。永平寺別院での座禅、スッポン料理、競艇場、足湯といった、参加者が予想できない奇想天外な組み合わせを考えました。最初の到着地点が禅寺である事を知らされた時の『えー！』という皆さんの表情が今でも忘れられません。

平成16年度のイベントはトレジャーハンティングでした。賞品のディズニーランドのフリーチケットをめぐり、4人1チームで地下鉄の1日乗車券を使いながら、各所に設けられた関所を突破していきます。最終ゴールに到着した時には、皆グッタリと疲れきった表情をしていたのが印象的でした。

平成18年度のイベントは元中日ドラゴンズ郭源治さんトークショーでした。郭さんの店を貸切りにして、皆でワイワイと盛り上がりました。料理もボリュームがあってとてもおいしかったです。郭さんと握手をしたり、一緒に写真を撮ったり、現役時代の楽しい話も聞かせて頂きました。

平成19年度には篠島での一泊旅行を企画しました。初めての一泊旅行という事もあって、参加費をいかにして抑えながら、皆さんに楽しんでもらえるかを、委員4人で苦労し

ながら考えました。深夜まで続いたカラオケ、ビジネスゲームも楽しかったのですが、私は何よりも、舟盛りを中心とした海鮮料理がおいしかったことが心に残っています。



平成20年度は豊田市の旧旭村でキャンプをやりました。縄跳び、バーベキュー、キャンプファイヤー、釣り、野球と童心に返ってそれぞれが思うままにとことん楽しみました。

走馬灯のように今までのことを思い起こしてみると、レク・イベントは参加者集めに苦労する事が多かったと思います。いつも始まる前は、うまくいくのか不安なのですが、いざ始まってみると、参加者の皆さんによって支えてもらったことが大きかったです。男女のバランスを考え、年齢を問わず初参加の方に気を配り、様々な工夫を凝らしてきた甲斐がありました。

最近では、何もかもが多様化する世の中です。主流を行く個人主義というものは、人と人とのつながりを希薄にしている気がします。どこを見ても携帯電話をさわっている人がいるぐらいです。

そっけない世の中になったものだと日々感じていますが、そんな世の中だからこそ、このようなイベントやレクに参加し、触れ合いながら築いていく人間関係が貴重であり、価値のあるものだと私は考えるのです。

少しでもこの考えにご理解いただける方、何となく楽しみたい方、彼女・彼氏を見つけない方、どんな考えでも結構です。レク・イベントには是非参加してみてください。

この度ASNが10周年を迎える事、心よりお祝い申し上げます。



業務中の筆者

## ありがとう！ASN

アイチ士業ネットワーク創立10周年、おめでとうございます。

思い返せばASNに入会した平成15年当時、私は実務についてまだ2年ほどの新米税理士。職場は男性ばかりで、女性は私を含め2人。しかも「土業」として働く女性は私しかない環境の中、「いきいきと働く素敵な女性に出会いたい！！」と思って参加した説明会で、ASNの大御所、社労士M先生がエルフォーラムの説明を実に軽快に興味深く紹介されており、その場で入会手続きをしたことを今でも鮮明に覚えています。

入会後も、当時事務局長をされていた税理士S先生が、何か行事があるたびに役員でもない私に「受付をお願いします(^\_^;)」と言って(当時、私はまだ20代でASNの中では、かなり若手だったからだと思いますが・・・笑) いつも声をかけてくださいました。

そんなS先生のおかげで、毎回全体行事に(無理矢理?)参加して、運営に携わる役員の方々大変お世話になったことが、その後ASNに深く関わるようになった(・・・というか、まんまと引き込まれてしまった!?)理由だと思えます。

以後、毎年のように全体行事の際にはお手伝いをさせていただくようになりましたが、平成19年に、当時の山田智博会長から「幹事長」という大役に声をかけていただいた際には、まさに青天の霹靂(!)とも言うべく大変な驚きでした。

私が幹事長に就任したときには、ASNの規模は相当大きくなっていて、会として個々のMFや会員について十分に把握することが困難な状況にありました。そこで、その問題点を改善すべく、私たち執行部が実行したことが「会費の自動引落としへの移行」と「幹事マニュアルの作成」の2つだったのです。

臨時の理事幹事会の開催や、仕事が終わった後の執行部メンバーによる会議。納得がいくものが出るまで討論し、非常に多くの時間を費やしたのですが、その中で大きな役割を果たしたのは、「執行部メンバーリスト(ML)」の存在でした。

## 税理士 藤本 佐知子

そのメールの数、およそ400通!!内容も会費の自動引落としや幹事マニュアル作成に関することにとどまらず、プライベートな近況報告まで・・・!? 時にASNについて熱く語り、そして、時にメールで笑わせたりしながら、まるで交換日記をしているかのようなようでしたが、こうして各自が気軽に意見をしやすい場があったからこそ、執行部メンバーが丸丸となって問題点に取り組むことができたように思います。



ML上で熱く意見を交わし、白熱しすぎて止まらない私たちを、最後に山田会長がとてもカッコよく(!)クールにまとめてくれる・・・そのような流れを繰り返して、執行部内での議論を重ねながら、ASNの組織としてのルールを見直していったのです。

幹事長として執行部の活動を行う中で、仲間たちと真剣に語り合い、そして、笑い合った一年のことを、私は忘れることはないと思います。こんな私を「仲間」に加えてくださった山田会長、そして、幹事長以上に力を発揮してくれた副幹事長のKさん、その他一緒に活動した執行部の仲間たち、それに協力していただいた各MF等の幹事をはじめ、会員の皆様には言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。

ASNは私にとって、まさに「居心地のいい場所！」——そう心から思えるのは、どの行事や勉強会に参加しても、すごく魅力的で、とても優しく、仕事上の疑問点や悩みの相談にのってくれたり、ふざけて笑い合ったり、私のプライベートな身の上でも案じてくれたり・・・(笑)と、いつも温かく接してくれる人たちがASNには集まっているからです。そんなASNがこれからもますます発展していくことを心より願っています。

最後にみなさんへ  
『ASN、ほんと大好き～(笑)!!!  
たくさん感謝を込めて・・・  
“ありがとうございます!”』  
藤本佐知子より

**【平成12年2月11日 参加91名】**  
**全体フォーラム**

ロコミやDMによる集客を行って、大人数が参加する立食パーティー（名刺交換会）を開催しました。

各士業がバランスよく交流できるように、4グループに分かれてもらい、それぞれにテーブルを用意しました。保有資格が分かり易くなるように、名刺に士業毎で異なる色のラインを引いて、名札としてつけていただく工夫を施しました。

当日の事務運営を除いて、事前の準備等をほとんど私（石田）一人に対応したので大変だったことを思い出します。

フォーラム以降も出来るだけ多くの人にご参加いただけるよう、翌年3月にゴルフコンペ、インターネット等に関するセミナー、4つのMF立ち上げなど、多くのイベントを準備しました。



**【平成14年11月16日 参加37名】**  
**チャリティーオークション**

「年に1回ぐらいは手の込んだイベントが必要だ」ということで、イベント実行委員会を発足させて、初のイベントとしてセミナー&オークションを実施しました。

オークションには、中古のベンツや百年の孤独（焼酎）など魅力的な商品が数多く出品され、不動産の鑑定権利が高額で落札されるなど、総額で10万円を超える大成功を収めることができました。

そのお金は、中日新聞社内の中部善意銀行に寄付させていただいたのですが、そのことは新聞にも掲載されました。



# プレ~平成14年度

**【平成13年4月15日 参加26名】**  
**講演会：大塚耕平さん 金融経済情勢**

**【平成14年3月23日 参加34名】**  
**講演会：古川元久さん 士業の規制緩和**

セミナーは運営しやすいイベントの一つでしたが、多くの士業者が関心のあるテーマを、ネットに関連するトピック以外で選ぶことは難しいと感じていました。

その中で、日本の将来に関するテーマならASNに相応しいのではないかと思います、上記のお二人に講師を依頼しました。



大塚さんの場合は国会議員になる少し前、古川さんの場合は現職の国会議員だったことから、一部の会員の方から「政治的な話は問題がありませんか？」と意見が出ました。



## 【平成15年9月6日 参加15名】

### 秋のバーベキュー大会

南知多の「魚太郎」で開催しましたが、夏の終わりの頃で暑かったのを覚えています。

昼間に皆でさんざん飲んで食べて話した後、夕方、名鉄電車に乗って名古屋へ帰りました。

ですが、なぜか金山で途中下車してしまい、いきつけのスナックに行き、その後も今池の屋台へ行ったりと、その日はエンドレスに遊んだ一日だったような…。

## 【平成15年10月18日 参加19名】

### 記念講演

私（鷲野）の活動計画は、基本的に飲み会になってしまうので、真面目に講演もしないといけないということで、前会長で金融証券検査官だった会計士の石田さんに、「金融問題の裏と表」のテーマで講演をして頂きました。（懇親会では裏話も出たりして、飲み会も楽しかったです。）

## 【平成15年11月1日～2日 参加17名】

### グルメ同好会：横浜中華街&ラーメン博物館

土地家屋調査士の橋本さんの提案で、グルメ同好会の参加者だけでなく、一般会員へも募集をかけて、一泊二日の横浜グルメツアーめぐりを開催しました。

ラーメン博物館では各地のラーメン文化を発見したり、老舗の「聘珍楼」では中国4千年の味を堪能しました。夜は、しゃれた元町のバーでシャンパンやワインを楽しみました。

## 【平成16年1月24日 参加16名】

### 冬のボーリング大会

今はもう無くなってしまった伏見のヘラルド会館で開催されました。確か2ゲームの個人戦で、弁護士の子が優勝だったような？

## 【平成16年4月3日 参加22名】

### 春の花見

社労士の浅野さんの推薦で、上飯田の中華食堂「茉莉花」のテラスで花見をしました。皆さんもあまり行ったことのない場所でしたが、見事な桜を前にして中華料理を味わいました。



## 【平成16年6月19日 参加30名】

### 夏のイベント：

#### 「ミステリーツアー」

司法書士の伊藤宗利さんを中心にイベント委員が入念に準備してバス一台を借り切った日帰り旅行が行われました。

ミステリーツアーですので、どこに行くかは委員以外の参加者は知りません。会長の私も事前には、ほとんど内容を知らずにイベントに参加させていただきました。

前年に「オークション」という大イベントを行っていたため、それ以上に盛り上げようと、委員の皆さんは一年前から自主的に打合せや下見をしたりと前準備をしっかりとされていました。その甲斐あって、30名のそれぞれがサプライズの旅を楽しむことができました。

最初に座禅を組みに行ったお寺では、なぜか私だけが和尚さんに説教されてしまい、日頃の不摂生を反省したものです（バスに戻ると早速缶ビールをいただきましたが…）。

その後も競艇場で舟券を買ったり、お昼にはすっぽん料理をいただき、夕方には足湯まで入らせてもらって、盛りだくさんのイベントとなりました。

# 平成15年度

## 【レクリエーション企画】

【平成16年9月 4日】 バーベキュー大会（愛知牧場）

【平成17年1月22日】 ボーリング大会（星ヶ丘ボウル）

【平成17年4月 2日】 花見（ジンギスカンとカラオケ）（浩養園）

年3回のレクリエーション企画を行うことが、このあたりから恒例となりました。

「愛知牧場」でのバーベキュー大会は、家族連れで参加された会員もあり、動物達ともふれあいながら、のんびりとした時間を過ごすことができました。

豪華(?)賞品盛りだくさんのボーリング大会や、カラオケで大いに盛り上がった花見企画も、普段、個別のMFだけでは関わることのできない、ASN全体の会員との親睦を深める場として貴重な機会となりました。



# 平成16年度

【平成17年4月16日 参加27名】

場所：中小企業センター

講師：豊田合成株式会社（企業内弁理士）小滝正宏先生

演題：青色発光ダイオードからみた知的財産権訴訟（特許訴訟）



外部講師として小滝先生にお越し、実際に関与された豊田合成と日亜化学工業の特許訴訟を題材に、青色発光ダイオードに関する最前線の議論をお話ししていただきました。

非常にトピカルな話題でしたので、参加していただいた会員の皆さんにも大好評の講演会となりました。講演会後の懇親会でも、小滝先生を中心に活発な議論がなされました。

【平成17年6月11日 参加35名】

イベント：トレジャー・ハンティング（宝探し）

名古屋マリオットアソシアホテルに集合してランチbuffetを楽しんだ後、4人1組に分かれて、トレジャーハンティングスタート。

参加者には地下鉄1日乗車券が渡され、イベントスタッフの指令に従って、中区、千種区、港区、北区と名古屋市内を駆けめぐりました。指令ポイントにたどり着くと、そこに待ち受けていたイベントスタッフから更なる指令が…。

ゲームをしたり、調べ物をしたり、カラオケに挑戦したり、まさにロールプレイングゲームの主人公になった気持ちで、汗だくになりながら一つ一つの指令をクリアしつつ、ゴールの司法書士会館を目指しました。

見事ゴール一番乗りを果たした優勝チームが、宝物（ディズニーランドチケット）をゲット！参加者は皆さん心から楽しむことができました。イベント委員長の林宏美さんを中心に、入念な準備をしていただいたイベントスタッフの皆様には本当に感謝です。



**【平成17年10月1日 参加30名】**

**レク：長良川鵜飼い見物**

ASN始まって以来、初の鵜飼見物。伝統装束に身を包んだ鵜匠が、燃え盛る篝火を焚きながら、鵜を自在にあやつって鮎を狩る様には厳かさを感じました。

予想以上にたくさんの参加者が集まったため、定員オーバーとなり、レク副委員長が参加できなくなってしまったというハプニングもありました。

このような伝統文化を尻目にして、お弁当にビールやジュースを屋形船に持ち込み、大いに盛り上がっているグループもありました。また、ご家族での参加者が多かった企画でもありました。

鵜飼い見物の後は、犬山市内の居酒屋に移動して二次会を行いました。



**【平成18年4月1日 参加32名】**

**レク：ジンギスカンでお花見（浩養園）**

天気の心配をすることなく花見をしようということで、吹上の浩養園にて、手もみジンギスカンをみんなでいただきました。

ラム肉は秘伝のたれを揉みこんだもので臭みもなく、とてもおいしかったです。ビールはもちろん「サッポロ生！」ピッチャーを次々と頼んで、120分間みんなで飲んで飲んで飲み続けました。

それでも飽きたらず、その後はカラオケにも行きました。3年以上も前のことなので、誰が何を歌っていたかまでは思い出せませんが、当時の会長（笑）が、ジャニーズの曲を歌って、ノリノリだったということがあったような…。



**【平成18年1月21日 参加24名】**

**レク：ボーリング大会（星ヶ丘ボウル）**

年齢や性別を問わず楽しめるボーリング。意外と消費カロリーが多いんですね。

終了後は、せっかく消費したカロリーを、せっせと補給すべく、パーティールームにて食べきれないほどの料理とビールで懇親を深めました。

チーム戦で競い、豪華とはいかない(?)までもいろんな賞品までいただいていたの楽しいひと時でした。

## 平成17年度

**【平成18年4月15日 参加28名】**

**ASN全体研修会：産業貿易館**

会社法研究会、及び国際問題研究会（現・ビジネスモデル研究会）が、これまでに行った研修の中から以下のテーマを選択して発表しました。

会社法研究会：会社法改正

国際問題研究会：①アメリカ司法制度 ②在留資格

愛知県産業貿易会館において、従来のイベントとは少し趣を変え、研究内容を発表していただく形式で会員間の親睦を深めるイベントとなりました。

この頃は、こういう真面目な企画もしっかりと開催していたんですよ。

終了後は、丸の内の居酒屋で懇親会を行いました。満席で窮屈な感じになってしまいましたが、MFの勉強会後の懇親会の拡大版のような雰囲気、幅広く交流ができた気がします。

## 【平成18年9月24日 参加36名】

レク：静岡バスツアー

朝8時に名古屋駅を出発したバスは、午前11時に最初の目的地である静岡県焼津市に到着。昼食は船内でのシーフード焼き。真っ昼間から、海を眺めながらのビールを堪能しました。

昼食後は、静岡市に向かって、海産練物工場の見学。小学校の社会見学のような感じで、みな真剣に見ていました。

続いて大井川鉄道に乗車。異常なテンションの車内放送に、車内は爆笑の渦でした。

最後に静岡市のお茶工場見学に行きました。手で摘まれたお茶の葉が、抹茶に生まれ変わる過程や、袋詰めされ商品になっていく様子を見学しました。できたてのお茶を試飲したり、抹茶ソフトを食べたり、和気あいあいとした雰囲気の中、帰路に就きました。

帰りのバスでは、ほとんどの方が熟睡していましたが、一部の方はビールを飲みながらハイテンションのままでした。その結果、薄暗い山道でバスを緊急停止させ、やむを得ず用を足すというハプニングも…。

その後、渋滞に巻き込まれ、予定よりもかなり遅れての名古屋到着となりました。

# 平成18年度

## 【平成19年3月31日 参加16名】

レク：沖縄料理 食事会

当初の企画では、例年通りの花見を予定していたのですが、天候不順の日が続いたため、急きょ室内での食事会に変更となりました。当時オープンしたばかりのルーセントタワー内の沖縄料理店で行いました。

当日のお天気は予想に反して快晴で、まるで初夏のようでした。その当時から異常気象が始まっていたのかもしれませんが。

二次会は、お約束のカラオケで盛り上がりました。年代が近い人が多かったせいか、90年代の選曲が多かったように記憶しています。



「日曜の夜だし、さすがに今日はこのまま解散だろう」と思っていたのですが、予想に反して当たり前のように二次会へ突入。バスの中でもさんざん飲んだはずなのですが、大半の方が二次会に参加して、最後まで盛り上がりました。ASNメンバーのパワーに最後まで圧倒されっ放しでした。

朝早くから夜遅くまで、内容の濃い楽しい旅でした。ちなみに翌日の午前中、私（松本）は完全にダウンしたままでした…。



## 【平成19年4月14日 参加30名】

イベント：郭源治さん 講演会&食事会

郭源治さんのお店で講演会を行いました。郭さんは、お店を出すまでの苦労話や味付けに悩んだことなどを面白おかしく話してくださいました。

講演会の後は、郭さんのお店で食事会を開催しました。郭さんも参加して下さって、和気あいあいとした楽しい食事会となりました。料理の味に郭さんの人柄が表れていたように思います。



**【平成19年11月17日 参加44名】**

**レク：伊賀の里モクモクファーム**

ご家族での参加も多かった伊賀モクモクファームのバス旅行。朝9時に名古屋駅を出発したバスは、午前11時に目的地へ到着。

早速、昼食のBBQ会場に向かって、美味しい豚肉や伊賀米、地ビールを堪能しました。

昼食後は、メインイベントの「手作りウイナー体験」です。さっそく手袋をつけて開始したのですが、なかなかうまく詰められなかったり、太さや長さがバラバラのものができたり…と、大人も子供も楽しく大騒ぎをしながらの作業となりました。出来あがったウイナーはお土産としてお持ち帰り。

その後は各自ファーム内を自由に散策したり、買物をしたりで楽しみました。

帰りのバスの中では、もくもくファームのお土産品（ウイナーやハムなど）を景品にゲーム大会をするなど、とても盛り上がったバスツアーでした。

# 平成19年度

**【平成20年6月14・15日 参加28名】**

**イベント：篠島旅行**

ASN全体行事では初めてとなる一泊旅行。午後12時40分に名駅に集合し、電車と船を乗り継いで篠島のホテル海原へ到着。

ホテル到着後、大企業の企業研修でも利用されているビジネスゲームをおこなって頭の体操をしました。

午後7時から大広間での大宴会。美味しいお酒とテーブルを埋め尽くすほどの海の幸を堪能し、その後は二次会のカラオケで大いに盛り上がりました。

翌日の朝食後は、グループに分かれて魚釣りや島散策へ出かけて、日ごろの疲れを癒しました。

一泊二日のハードな日程でしたが、寝食を共にすることで、会員間の親睦を深める伝説のイベント行事となりました。



**【平成20年4月5日 参加44名】**

**レク：いちご狩り&BBQin南知多**

当初の企画では、「地引網体験とBBQ」を予定していたのですが、この年は海苔の生育が遅く、レク当日は地引網ができない状況となってしまう、急遽いちご狩りに変更となりました。（地引網を楽しみにして下さっていた方には本当に申し訳ありません。）

当日のお天気は快晴。名古屋駅を午前9時に出発し、一路、いちごの里へ。

いちごの里に到着後、約1時間半ほどいちご狩りを楽しみ、甘くなったいちごをお腹一杯いただきました。いちごを20個以上召し上がった方もいらっしゃいました！

その後、南知多グリーンバレイに移動してBBQ大会。6つのグループに分かれて、魚介類やお肉、焼きそば等を楽しみました。

最後に参加者全員で写真撮影をして、帰路につきました。お天気にも恵まれ、楽しい1日となりました。



【平成21年4月4日 参加33名】

レク：船上お花見会 お座敷船「義丸」

4月の春といえば「お花見」ですが、どうしても変わりやすい春の天候が気になる…ということで、お座敷船を貸切って船上からのお花見を行いました。

やはり天気は、あいにくの雨となってしまいました。出発地の納屋橋、そして堀川沿いから所々に見える夜桜や名古屋港の夜景がとても綺麗でした。

お座敷船というと、屋形船のようなイメージで「吹きさらしで寒いかな」と乗る前は思ったのですが、しっかりとしたガラス張りで気になりませんでした。



## 平成20年度

【平成21年6月27日・28日 参加25名】

イベント：旭高原キャンプ

名古屋駅に集合した後、チャーターしたバスに乗って、豊田市にある旭高原まで向かいました。

この企画は「童心に還る」がテーマであり、小中学生時代に学校行事で行ってきたキャンプを思い出しました。

到着後、グループに分かれて、広場で「長縄跳び」を楽しみました（なかなか体力を消耗しました）。

運動で汗をかいてから、飯ごう炊さんとバーベキューで、みなさんお腹いっぱい食べていました。

夜はキャンプファイヤーで、なつかしのフォークダンスを行いました。皆さんすっかり少年少女の頃の気持ちを思い出したことでしょう！

【平成20年11月3日 参加30名】

レク：ソフトバレー大会

本格的なスポーツ企画としては初の試みである「ソフトバレー大会」をARCO清洲で開催しました。このスポーツ企画というのはMF同士でソフトボール試合を行った際に、懇親会の席で誕生したアイデア(?)だったように記憶しております。



MF単独のチームだけでなく、いくつかのMF連合のメンバーで編成されたチームもありました。これらを2グループに分けて、チーム対抗戦の形式で行ったのですが、当初のうちは「レク」らしく、和気あいあいとした感じでした。

しかし、そこは士業という職業柄(?)、勝負事がからむと「負けていられない」性分の方が多いため、対抗戦、決勝トーナメントと進むにつれて、かなり真剣勝負な雰囲気となっていきました。

皆さんフェアプレイで怪我も無く、盛況のうちに懇親会に突入し、こちらも盛り上がりました。翌日は筋肉痛に悩まされた参加者が多かったようで、運動不足を痛感されたとか…。



夜が更けて就寝時間になっても、大広間（おそらく林間学校で使う団体の宿泊所？）に集まって、明け方まで話が尽きることなく大いに語っていました。

バンガローに戻るとき、星が綺麗だったことをハッキリと覚えています。翌日も、テニス、ドッジボール、釣りとは各人それぞれ充実した時間を過ごすことが出来ました。



# MF1

## ●活動内容

偶数月毎に、栄周辺にて約1時間半の勉強会と懇親会を行っています。勉強会は毎年テーマを決めています。

テーマに沿って、MFに所属している会員が講師役となりディスカッション形式で行っています。

## ●過去1年の主な活動テーマ

平成21年度テーマ「不況に勝つ！」

「最近の保険業界の動向、事例等について」講師 FP 古川信彦さん

「雇用調整助成金（中小企業緊急雇用安定助成金）」講師 社会保険労務士 浅野 真理子さん

## ●メンバーの人数や資格

約10名の会員が参加しています。弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、行政書士、土地家屋調査士、FPの方々が参加されています。

## ●MFの流れ・平均予算

勉強会は夜7時から1時間半程度開催、その後場所を変えて近くの居酒屋で懇親会となり、11時ぐらいに終わります。

平均予算は勉強会が会議室代として500円

私がASNに参加させていただくこととなったきっかけは、平成10年に開催された第4回自由業フレッシュマン・フォーラムで、テーブルを一緒にした皆さんとの出会い・二次会・勉強会からであります。

当時は勉強会の名称はASNではなく、F3という名称で、ASN初代会長の石田さんがお世話係をして下さっており、人数も5名程度だったと記憶しております。

早いものでそれから11年、ASNとなつてからでも10年が経ち、会員数も320余名と大変大きな組織、みんなが誇りを持てる組織になったと感慨深く思うのは、きっと私だけではないと思います。

歴代会長を初めとする役員の方皆さんのご尽力があつてのASN。会員1人1人の志があつてのASN。今後も20年、30年とASNが存

程度、懇親会が3,500円程度となっております。

## ●よく開催する場所

名古屋市中区栄四丁目16番8号  
栄メンバーズオフィスビル

## ●今後どのような活動をしていきたいか

今後もタイムリーなテーマで勉強会を進めて、実務にも役立つような内容にしていきたいと思います。

懇親会も力を入れて、メンバー交流の場にしていきたいと思います。



続、発展し、会員の親睦・知識の向上の場・社会貢献、そして、みんなに感謝される会であってほしいと心より願っています。

最後になりましたが、ASN設立10周年おめでとうございます。今後のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

追伸。私が14年前に開業したときは20歳代でありましたが、今では40歳代。いわゆる「おっさん」であります。

現在、私が参加させていただいているMF1は、性別、年齢、資格とも色々な方がバランス良く在籍されており「おっさん」の私でも違和感なく出席させてもらっています。よろしかったら、一度覗いてみてくださいませ。

土地家屋調査士 佐原 法人

# MF2

## ●活動内容

約10年間、毎月継続して、1時間半程度の勉強会及びその後の懇親会を行っています。

メンバーは各士業からなり、参加者の年代も幅広く、異業種・異年代の交流の場となっています。

新しいメンバーを迎え、またメンバー以外の方の参加もあり、活発に活動しています。随時、新メンバー、参加者を募集しております。興味のある方は、是非ご参加下さい。



## ●過去1年の主な活動テーマ

「生活保護制度」

講師 伊藤陽児さん（弁護士）

「土地境界紛争ADRでの解決」

講師 渡邊歩さん（土地家屋調査士）

「会社経営者の事業承継対策」

講師 伊藤智香さん（税理士）

「男と女の事件簿」

講師 松田太源さん（弁護士）

「豊田市の農地転用を考える」

講師 奥村志保さん（行政書士）

「助成金活用術」

講師 花村俊広さん（社会保険労務士）

「立体商標について」

講師 青山秀夫さん（弁理士）

「地位譲渡契約の実例」

講師 中村桂太さん（社会保険労務士）

「戦国武将の事業承継」

講師 志水正芳さん（税理士）

「特許流通と事業経営」

講師 堀啓一さん（行政書士）

## ●MF2の重大事件

① 出会い② 別れ③ 再会④ 独立⑤ 宴会、等々…詳しくは懇親会に御参加ください。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

「来るものは拒まず、去るものは追わず。」ここでの出会いを大切に、この先10年も、お互い楽しく勉強会・懇親会を続けていきたいと思っています。

## 愛すべきMF2

MF2が発足し、最初に顔合わせ会を行ったのが平成12年3月22日である。その日は、9名の各士業が集まったのであるが、その内6名は現在もアクティブメンバーとして毎月の勉強会や懇親会に参加している。

平成12年末までに13名の登録となり、平成13年末には18名の登録となった。その後は新加入や脱退などもあり、平成21年10月現在では21名が登録している。

この10年間、ほぼ毎月勉強会を続けてきた（台風等で急遽中止にしたことはあったが）。それにしても、よく続けてきたものである。これだけ長く続けてこられたのも、本当に素晴らしいメンバーのおかげであろう。

特にMF2のメンバーは、みんな仲が良い。その上、大酒飲みが多く、また男性陣よりも女性陣の方が酒にめっぽう強いときたものだ。そのため、毎年の暑気払いと忘年会は大勢の参加者となる。

いつだったか暑気払いの際に、中華料理屋の酒類を飲み尽くしてしまったこともあった。また、楽しみにしていた有名銘柄の日本酒が飲めず（お店で出してもらはずだったのに出なかった）怒り出す人達もいたなあ。

ワイワイがやがや、MF2は、この先、何年も続いて行くだらう。

弁護士 松田太源

# MF3

## ●活動内容

MF3は、ASN立ち上げ当初から活動をしているミニフォーラムの一つです。(MF3の母体は、ASN発足以前から活動していた勉強会であり、ASNの中心メンバーが多く所属しているMFの一つでもあります。)

これまでは勉強会を中心とした活動を長期にわたり続けて参りましたが、近時は、参加メンバーの懇親の場をつくることに主眼を置くこととし、隔月(奇数月)に飲食店での懇親会を開催しております。

和気藹々とした雰囲気の中で、参加メンバー相互の情報交換やストレス解消の場を提供することが出来ればと思って活動しております。

## ●メンバーの人数や資格

メンバーの資格は多岐にわたっております。20数名の構成員のうち10名前後は、コングラメントにご参加いただいております。

## ●開催の流れ

現在は懇親会中心ですので、開催日(平日)の午後7時に開催場所である飲食店に集合する形になります。

予算は通常の飲み会程度と考えて下さい。(さらに飲みたい方、歌いたい方は二次会へ。)

## ●よく開催する場所

栄周辺が多いですが、メンバーの希望に応じ、様々な場所での開催を検討しております。(グルメ会的色彩を今後は強くしていくつもりです。おいしいものをいただきます。)

## ●今後どのような活動をしていきたいか

せっかくMF3という場所で、親しくなる機会を得たのですから、末永く、懇親を深める場を持ち続けることができればと思います。(新規メンバーも歓迎しますので、ご興味のある方は、お気軽にご連絡下さい。資格、年齢問いません。)



## ベースキャンプ

ASNの10周年にあたり、記憶が風化しないうちに書き記しておきます。すべて私の記憶を頼りにしていますので、細部の差異はご容赦ください。

フレッシュマンフォーラムに参加した私は、ASN自体への入会を表明していましたが、全体行事が計画的に実施されていなかった当時は、特に何かに参加することなく、時間が過ぎていました。

そんな折、「今ある勉強会を一度シャッフルしてMF1からMF5までの4つ(MF4は欠番)のミニフォーラムを立ち上げる」という計画が持ち上がりました。

その会議においては、それぞれのMFについて最初の幹事を選び、その他の方は、どの

MFに参加するかを自由に選択していく方式になりました。

MF3は、不動産鑑定士の李さんが最初の幹事でした。まったくの初対面でしたが、知っている人が少ない私にとっては、李さんの雰囲気になんとか魅かれ、MF3を選択しました。

これがMF3発足の瞬間であり、私にとってはASNへの参加のきっかけとなったことでした。現在は2度目の運営幹事をやらせていただいておりますが、MF3こそがASNへの参加の「ベースキャンプ」であることに、今でも変わりはありません。

税理士 浅野 哲 司

# MF5

## 平成卒 全盛時代

MF5は当初、司法書士の林秋彦先生を中心に創設されました。平成12年、まさに20世紀末の頃です。

当初は毎月1回ナディアパークの会議室で勉強会を実施し、その後に飲食会というパターンで運営してきました。

最盛期、メーリングリスト上では20名を超える規模でしたが、段々脱落し、数年前からは年に2回ほど飲み会を開くに留まっています。但し、各自の得意分野はお互いに熟知しているので、何か仕事に必要な場合は活用し合っている関係です。

今回、記念誌の原稿を書くに当たり、現行の会員名簿を見たのですが、初期の人が減ったことを痛感しています。

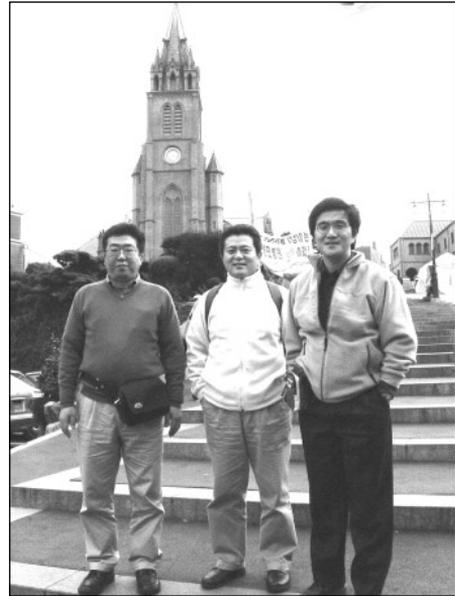
話は変わりますが、私の出身大学の同窓会でも、最近「平成卒の会」が別組織で出来ていて、若手の方達が活躍しています。聞くところによると昭和世代を除外するのは、様々なところで見られる現象のようで、ASNも似たような状況になっているのではないのでしょうか？

私は昭和38年生まれ、昭和61年大学卒です。私が大学生の頃は携帯電話も無く、

PCもまだ珍しく、現在の情報化時代から見れば「遅れた世代」です。

自分では、まだ若い世代だと思っていましたが、いつの間にか追われる側に移っているのかもしれませんが、ASNもどんどん世代交代して活性化された組織となっていくことを祈念します。

### 不動産鑑定士・税理士 樋沢 武司



# MF7

まずはASNの設立10周年おめでとうございます。

私はASNがまだ小さなサークルだったころは知りませんが、いよいよ異業種交流会として本格的な組織となったときに、ASNのメンバーに加わりました。

多くの仲間と接し、各種の勉強会・イベントにも参加させていただきました。

夏の終わりに行われる新入会員の勧誘パーティーや年明けの賀詞交歓会、年度の区切りに開催される定時総会では毎回多くの参加者と交流することが出来て、私にとって常に有意義な集まりでした。

おかげで普段知り合うことが出来ない他の士業の先生方と知り合うこともでき、仕事の上でも大変役に立ちました。

われわれ士業の人間は単独で仕事をする

ことが多いのですが、助けが必要なときに頼れる仲間がそばにいてくれたり、逆にこちらからも援助ができたりと、私にとってこの10年はASNと共にあった10年と言っても過言ではありません。

また各種のレクリエーションでは、普段はバラバラの人間たちが、あたかも会社における懇親行事に参加しているような連帯感が感じられました。ゴルフコンペなどで趣味を同じくする仲間に出会った事も、とても有益でした。

私自身はMF7の代表幹事として、長年ミニフォーラムの運営を支えてきましたが、向こう10年間はミニフォーラムへの参加を中心としつつも、ASNの全体事業の運営にも協力し、次回20周年を迎えられるよう尽力していきたいと思っています。

### 司法書士 堀田 泰司

# MF8

## ●活動内容

毎月、国際センターにて1時間半程度の勉強会をしています。その後、名古屋駅周辺の居酒屋等に移動して懇親会を開いて交流を図っています。

## ●メンバーの人数や資格

現在、MF8の会員数は36名です。開業したばかりの方から経験豊富な方まで参加している元気印のミニフォーラムです。年齢層も幅広く、毎回、賑やかに、楽しく、真剣に勉強会を行っています。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

MF8でのご縁を大切に、互いに楽しく活動をしていきたいと思っています。



新しい会員さんも気軽に参加できる雰囲気、益々大切にしていきます。

また、他のMFや研究会との交流をすすめていきたいと思っています。

## ●MF8の出来事

ASNキャンプ参加・・・みんなでキャンプファイヤ～！

恒例春のソフトボール大会・・・見事な大接戦のナイトゲームです。

ASNソフトバレーボール大会・・・優勝しました！

北陸温泉の旅とミステリーツアー・・・汗と涙と笑いの蕎麦作り体験もありました。

野沢温泉スキーレクリエーション・・・野沢温泉の夜は素敵で楽しい。

嬌恋スポーツレク・・・ゴーカート、アーチェリー、クレール射撃、テニス等やり過ぎ～！

## こんな女のひとりごと

今でもよく覚えています。開業したあの頃。入ったばかりのMF8で、何だか自分には敷居が高く感じて馴染めないんじゃないかとカチコチになって座っていたことを。

あれから7年。MF8は、旅行に行ったりするほど親しいお仲間になりました。

また、ASN全体の行事で多くの人と出会い、プライベートでもゴルフ・山歩き・ホームパーティなどと、一緒に遊ぶ間柄のお仲間まで出来ました。

7年前に資格を取って看板を上げた当初は、たった一人で道を歩いて行くイメージがありましたが、行政書士会や、ここASNで、同じような悩みを持ちながらも頑張っている仲間たちとの、横のつながりがあるおかげ

で、会社にいた頃よりもずっと多くの同僚達に囲まれている感じがあります。

また、私はもともと岐阜県人なので、名古屋には知り合いがほとんどいませんでした。今、名古屋に自宅を引っ越してきて1年が経ちますが、時おり、ASNのメンバーと道ですれ違うことがあったりして、近くで何人も仕事をしている方々がいるという安心感があって心強く、とてもありがたいことです。

ここで出会って仲良くなれた多くのみなさんと、この先もずっとずっと楽しく、ときに愚痴もこぼしあいながら、共に歩いていくことを願っています。

この出会いの場に、感謝感謝！

行政書士 長縄光恵

# MF9

## ●活動内容

毎月、栄または伏見駅周辺にて1時間半程度の勉強会及びその後に懇親会を行っています。テーマは発表者にお任せですが、リクエストがあったり、時事ディスカッションがあったりと、みんなで決めて楽しく運営しております。

## ●過去1年の主な活動テーマ

金融経済の話、節税の話、著作権の話、今さら聞けない士業の疑問討論会、暑気払いなどなど、士業に偏りが無いという特徴をフルに活かしたテーマで活動しています。

## ●メンバーの人数や資格

約15名程度の会員が毎回参加しています。



す。年齢は20代～40代まで幅広く、女性会員も比較的多く参加しています。

名古屋周辺の方が多く、弁護士、司法書士、弁理士、税理士、社労士、行政書士、不動産鑑定士、土地家屋調査士、FPと、ほとんどの士業が勢ぞろいしています。



H20.3.24開催「ムッシュ木村の食いしん坊万歳！」より

## ●MF9の重大事件

- ・売上倍増！
- ・独立開業！
- ・事務所建てちゃいました！
- ・豪邸購入！

などなど・・・。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

縁そして仲間を大切に！

MF9をひと言であらわすなら「士業と個性のメルティングポット（るつぼ）」と表現することができます。

およそ、日常に生起する問題を解決するために必要な士業が、揃って参加しているからです。ASNでは数少ない弁理士も参加しています。そのため、MF9に所属していれば、業務が異業種に及ぶ依頼でも安心して受任することができます。またMF9の参加者には社交的な人が多く、飲み食いするにも事欠きません。毎月1回の勉強会の後は、夜遅くまで懇親会が続きます。

もちろん、勉強会のテーマも多種多様です。その守備範囲は広く、最新の問題を熱く議論することから始まり、果ては、蕎麦打ちの勉強にまで及びます。幅広い知見を得ることによって、一つ一つの業務に深み

が出るというものです。（現実には、ちょっと違うかも？）

さらに、MF9の面白いところは、幹事によって勉強会の色合いが変わってくることです。同じテーマで勉強会をやっても、幹事によって、内容はもちろん、参加するメンバーまで様変わりすることがあります。懇親会場も、幹事が交替するごとに毛色が変わり飽きることがありません。まさに、個性のメルティングポットたる所以です。

このところ、新しい参加者が少ないのが残念ですが、これからもMF9は、個性に磨きをかけて発展していくことでしょう。その行き着くところは神のみぞ知るところですが・・・。

弁護士 櫻井博太

# MF10

## ●活動内容

毎月1回、午後7時より約1時間の勉強会、その後は金山駅周辺にて懇親会を行っています。勉強会は毎月担当者を決めて、テーマを基本的に担当者にお任せする形で行っています。勉強会と言っても堅苦しいものではなく、各人が自由に質疑応答をするようなフランクな雰囲気のもと行っています。

運営面では、各士業がバランスよく、かつ皆さんに万遍なく発表して頂けるよう配慮しております。懇親会は各士業間における情報交換、日頃のストレス発散にはうってつけの機会となっています。金山駅周辺で行いますので、アクセスもよく、飲み屋も多いので、毎回会場を変えて楽しく飲んでいます。

## ●メンバーの人数や資格

企業内資格者も少なからずいらっしゃいます。全部で約40名の構成員がいますが、そのうち勉強会には毎回12～13名程度、懇親会には毎回8～10名程度がご参加頂いている印象です。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

今後も基本的にはこれまでと同様、毎月1度の勉強会と懇親会をベースに活動していく予定です。

今年度はスポーツ（ボーリング等）を取り入れてみたり、他のMFとの交流を図るような企画も検討中です。新規メンバーについては、いつでも大歓迎ですので、ご興味のある方は、ぜひお気軽にご連絡下さい。



## MF10の光と影？

私がMF10に入ったのは、2年程前にホテルアソシアで催されたASN説明会で、司法書士の田島さんや土地家屋調査士の児玉さんから、熱烈なラブコール(?)を受けたのがきっかけです。(ちなみに、私は二つ返事でお受けしました。)

それ以来、MF10の勉強会には毎月のように参加させて頂いております。私の場合、どちらかという勉強会後の懇親会で、美味しいお酒を飲むのが目当てではありますが…。

毎回、金山駅周辺で催される懇親会では、他士業の皆さんの業界事情だとか、経営事情だとか、はたまた家庭事情(?)だとか、同世代ならではの話題で盛り上がりがあります。

MF10の良い所は、メンバー同士が「先

生」ではなく、「さん」付けで呼び合うようにしていることです。そのせいか、とてもフランクな人間関係が出来ているように思います。

また、新人の方も自然と溶け込めるような雰囲気がありますので、だまされたと思ってぜひ一度参加してください。

少し残念なところは、ずばり(!?)女性参加者が非常に少ないことです。その理由は皆目見当が付きませんが、懇親会で男性が十数名がずらっと並んだ光景は、非常に男くさく壮観でさえあります。

弁護士の片山さんをはじめ、男らしいイケメンたちが沢山参加しておりますので、特に女性の皆さんにおかれましては、だまされたと思ってぜひ一度参加してください。

弁護士 正木 健 司

# MF11

## ●活動内容

MF11では、メンバーが講師になって勉強会を行う形式ではなく、おいしい食事やお酒をいただきながら、情報交換会のスタイルで活動しています。

情報交換会では、参加者それぞれが「仕事の上で日頃気になっていること」を相談したり、「他の参加者からの情報や意見」に耳を傾けたりと、気軽な雰囲気の中にも真剣味のある有意義な交流をおこなっています。二次会への参加者も多く、ワイワイと飲んで盛り上がり、カラオケで熱唱したりと、若かりし頃に戻った気分で皆さんストレスを発散しています。

新規で参加される方が毎回いらっしゃいますが、気の良い仲間達と幹事がしっかりとサポートしますので「せっかく参加したけど一人ぼっちだった」ということはありません。新入会員の方は、ぜひお気軽に参加してみてください。いつでも大歓迎です！

## ●メンバーの人数や資格

開催は2ヶ月に1回程度で、参加者は20名前後と賑やかです。各士業まんべんなく参加されていますので、同業者の仲間もすぐ見つかると思います。年齢は30～40代が



多く、独身の男性会員・女性会員も結構いますので、最近はやりの「婚活」ができちゃうかも。

## ●MF11の流れ・平均予算

平日の夜7時から9時頃まで食事をしながらの情報交換会。二次会は、有志で近くの居酒屋やカラオケ等に移動します。情報交換会の予算は4～5千円程度。

## ●MF11の大事件

土地家屋調査士の小島一晃さんが、なぜか2009年鈴鹿8時間耐久レースに参戦。しかも決勝戦を完走！

(出走58台 完走45台中 26位)

## ●今後どのような活動をしていきたいか

参加者にとって「楽しく・ためになる」MF11であり続けられるように、メンバー全員が一体となって盛り上げていきたいと思えます！

「アムロ、行きま〜す」でおなじみの「機動戦士ガンダム」が、名古屋発というのを皆さんご存じですか？1979年に名古屋テレビで初放送され、このたび30周年を迎えました。

これを記念して平成21年夏、ポートメッセ名古屋にて「生誕30周年祭 in NAGOYA ガンダム THE FIRST ～未来創造の世紀へ～」が開催されました。私も家族みんなで会場に足を運びましたが、なんと入場まで3時間コース！お客さんも全国から来ているようで、愛知万博なみのすごい行列でした。

汗だくになりながらも何とか会場に入ると、記念グッズのTシャツや限定プラモデルは既に完売。「やっぱりなあ〜」と思いながらも非常に残念でした。個人的には、名古屋弁バージョン「だまくらかしたな、シャア！」Tシャツが欲しかった〜(笑)

我らがアイチ士業ネットワークもこのたび10周年を迎えましたが、数々の名セリフを生み出した「機動戦士ガンダム」のように、皆さんに支持されて20周年、30周年と末永く続いていくことを心から願っています！

税理士 安藤 雅康

# MF12

## ●活動内容

2、3ヶ月に1度、勉強会・懇親会を開催しております。持回りにより、各業種の講師が話題のニュースや諸法の改正等に伴う勉強会や、グルメツアー、飲み会等を行っています。

## ●過去1年の主な活動

昨年「刑事手続」「消費税」「派遣契約期間」等の勉強会を行いました。

忘年会以降は、知多半島へのふぐ料理ツアーを行い、名古屋で鳥料理を食べ、この夏には、42階からの眺望をつまみに飲み放題の暑気払いを行いました。

## ●メンバーの人数や資格

司法書士を中心に20数名、各業種の方が参加しています。

## ●MF12の流れと平均予算

通常、平日の夜7時から栄・エーデルワイス2Fにて勉強会を開催します。その後、栄か名駅の居酒屋等にて懇親会を行います。予算は3,000～5,000円程度です。懇親会のみ開催の場合は、夜7時から8時ぐらいからです。



## ●よく開催する場所

名駅周辺か栄付近。勉強会は、主に栄・エーデルワイスの2階です。知る人ぞ知るレトロ調の喫茶店です。フリースポットで無線LAN完備です。貴方も一度は訪れてみては…。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

定期的な勉強会・懇親会・ツアーの他、スポーツ等のイベントの開催についても、参加メンバーの意見を聞きながら考えていきたいと思います。新規メンバーについては大歓迎です。もちろん、懇親会のみ参加もOKです。

ASN10周年おめでとうございます。10年間で300人規模の士業団体になるということは、ちょっとした偉業なのではないかと感じております。

ASNに入会したのが4年前。ちょうど司法書士として開業したばかりの頃でした。今から振り返ってみると、当時は仕事が欲しいが故に入会したといっても過言ではありませんでした。

しかし、この4年間で振り返ってみて、入会して一番よかったと思うことは、たくさんの仲間ができたということだと思います。

(もちろん仕事を頂くこともあり、非常に感謝しております。)

私たち士業の人間は、一人ないし数人の職場で仕事をするのが多く、寂しい時、不安な時もあるかと思います。

そんな時にミニフォーラムや研究会での

勉強会や懇親会・イベントやレクといった全体行事に参加して、たくさんの仲間と共にたわいもない話をして(とある女性会員の恋愛話にもよく付き合わされたものです)、時には真剣に議論をし、ASNと共に成長することができたのではないかと思います、非常に感謝しております。

最後に、この規模の団体になると新入会員と古参会員の交流が非常に難しくなってきたかと思います。しかし、新入会員にとって古参の方の存在は、仕事の面でも人生の面でも非常に頼もしいものです。

今後もこういった記念事業を続けていって、新入会員と古参会員の交流の場を増やしてもらえればいいなあと思います。10周年記念事業実行委員の皆さん、ありがとうございました。

司法書士 鬼頭大介

# MF13

## ●活動内容

2ヶ月に1回ぐらいのペースで、主に栄または名駅にて、勉強会（1時間半程度）及び懇親会を行っております。

勉強会の内容は、開業されて5年以内の方や事務所勤務の方が多数参加されていますので、開業当初や事業を進めていくにあたっての身近な疑問や各士業の業務内容の紹介及び他士業の業務との関連性について開催してきました。

懇親会では、勉強会では聞けなかった各士業の「裏」の話や実務経験に基づいた「知っ得」な話が聞けます。お客さんとのネタ話の収集にもってこいです！

## ●過去1年の主な活動テーマ

「知的財産権ってなんだろう？」

講師：弁理士 牧野琢磨さん

「確定申告の留意点」

講師：税理士 松田憲治さん

「車庫証明入門」

講師：行政書士 磯村信悟さん



「建設業許可について」

講師：行政書士 田中聡さん

「改正貸金業法の影響」

講師：司法書士 鈴木雅勝さん

「家事関連費とスーツ代」

講師：税理士 舟橋武史さん

## ●今後どのような活動をしていきたいか

MF13では、現在のところ、各士業偏りなく参加いただいておりますので、同業者及び他士業との懇親を深め、また、仕事上においても協業できるような間柄を培っていただけるような場所の提供を考えております。

今後の勉強会は、講師による各テーマの発表にとどまらず、ディスカッション形式での検討会も取り入れます。懇親会についてもメンバーの親睦をより一層図るような試みを模索していこうと考えています。

私がASNという団体を知ったのは、確か事務所移転真っ最中のバタバタしていた2007年の6月頃だったと思う。

元同僚で同時期に独立した現在の事務局長の鈴木雅勝さんに誘われ、MF11に参加したのが入会のきっかけである。

参加とは言っても、当時からMF11は親睦会中心の活動をしていたので、「ASNというのは、飲みながら情報交換する集まりなんだろう」と簡単に思っしまい、新入会員説明会にも参加しないまま、気楽にMF13の立ち上げに行ってみたところ、「えっ、勉強会なんてあるの？」→なんとなく運営幹事→代表幹事という流れでASNに呑み込まれていった経緯である。

こういう風にかくと入会して後悔しているのかと思われるかもしれないが、会員の皆様、それは全くの逆であるので悪しからず。

ASNに入会し、それぞれ特徴のあるMFにもいくつか参加し、皆で勉強をして飲み、語らう…。また、全体行事であるイベントやレクでは、飯を作り、汗を流す…。まるで学生に戻ったのか（ちょっと言い過ぎ）と勘違いするかの楽しい団体である。

それだけではなく、業務の面でも、同業・他士業・諸先輩方と情報交換、質問、コラボ、相談、お願い、さらには愚痴をこぼしたり、ごめんねごめんねー（？）もできる稀有な団体でもある。

一般的に孤独な稼業である士業にとって、ある意味、心のオアシスを求めることができるASNという団体が、更なる発展をしていくことを切に願い、筆を置きたい。

ASN愛してるよー。

行政書士 田中聡

# MF14

## ●活動内容

ほぼ毎月、栄を中心に勉強会・懇親会を行っています。MF14はまだスタートして1年のグループですが、毎月活動しているためみんな仲良しのグループです。

## ●メンバーの人数・資格

資格は多岐にわたり弁護士・公認会計士・司法書士・税理士・弁理士・社会保険労務士・不動産鑑定士といったところです。

ASN全体でも数少ない不動産鑑定士と弁理士の方が複数名出席されているのは、他のMFに無い特色です。

## ●MF14開催時の流れ・平均予算

活動は毎回19:00より勉強会をスタート



し、20:30より懇親会という感じです。出席される方がいつも多く、毎回15名～20名は定期的に参加していただいています。1回あたりの勉強会及び懇親会の平均予算は、4,000円ぐらいです。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

まだ1年しかたっていないグループなので、古参と言える人もおらず、気兼ねなく、安心して参加してください。すぐに打ち解けることができると思います。

一度参加していただければわかりますので、是非一度顔を出してみてください、後悔はさせません。代表幹事の小林賢一郎が保証します！



私とASNが出会った記念すべき日は平成20年4月5日でした。当時の彼女（10周年記念事業の頃には妻になっているはず）の先輩の紹介で、レク行事であるイチゴ狩りに参加したのが最初でした。

イチゴ狩りでは、およそ10年ぶりに大学時代の同級生のF本さんと感動！？の再会。そんなご縁によりASNで活動させていただくことになりました。

入会してからは、篠島旅行に参加したり、F P研究会に入ったりと、ここでも沢山の人の出会いがありました。

気がつけばMF14の立ち上げにもかかわることになり、僭越ながら初年度の代表幹事という大役も務めさせていただきました。

ホタックスさんという優秀な運営幹事、そして参加意欲の高いメンバーに恵まれたこともあり、約1年間の任期中、無難に責務を果たすことができたのではないかと自負しております。

私にとってのASNとは、A（遊ぶ）、S（しゃべる）、そしてN（飲む）場です。「なんだ、ただの飲み会じゃないか」と言われてしまいそうですが、ちゃんとS（STUDY）だってしてますよ。

士業にとって、人と人のつながりは宝物です。宝の山であるASNが、これからもますます発展していくことを祈念いたしまして、コラムの締めとしたいと思います。

弁護士 鈴木和貴

# MF15

## ●活動内容

平成21年9月に立ち上がったばかりの新規MFです。勉強会を中心に季節ごとのイベント（忘年会、花見etc・・・）を取り入れて活動していく予定です。

## ●メンバーの人数

現時点で正確な人数は未確定ですが、立上げ時に参加表明頂いた方は30名超、10月の第1回目は20名の方にご参加頂きました。

構成は現時点で各士業数名ずつとバランスの良い構成となっており、士業間のネットワーク作りにお役に立てると思います。

また女性の方にも多くご参加頂いており、女性同士のネットワーク作りにもお役に立てると思います。

## ●開催時の流れ・平均予算

開催は毎月第3金曜日（繁忙期等を除く）の19:00スタート、1時間～1時間半の勉強会の後会場周辺にて懇親会の流れです。

会場はメンバーの服部さんのご厚意により提供して頂いている、㈱新東通信の会議室を基本に栄周辺の会場で開催を予定しています。

## ●今後どのような活動をしていきたいか

立ち上がったばかりのMF15では皆様の力を必要としております。「新入会員の方でまだMFを決めかねている・・・」「最近行っていないけどそろそろ本腰入れようかな・・・」等々、どんな方でも参加歓迎です。

まだまだ、スタート段階のMF15では何の気兼ねもありません。是非ご参加頂き一緒に活動を盛り上げて行きましょう。



活動については試行錯誤の段階ですが、他のMFにない独自の色を出していけたらと考えています。

一度参加してみてもいいかな?と思った方、代表幹事の曾山まで是非ご連絡下さい!

今年度立ち上がったばかりのMF15。現段階ではまだMF独自の「ネタ」がありませんので代表幹事個人の私的なネタを・・・。

私は中村区のT会計の出身です。T会計は勤務者が概ね10名強の中規模事務所ですが、ここに勤めてから独立開業した人は、なぜかASNへの入会率が非常に高いのです。

ここ4～5年では、税理士の開業入会率100%!不動産鑑定部門も併設しており、こちらからも1名が入会と、他の事務所ではなかなか無い現象（自分が知らないだけで、もしかすると他にもあるかも?）が起きています!

これもひとえに、先に入会した諸先輩方

がASNの活動に積極的に参加して、そのメリットをしっかりと後輩に伝えているからでしょう。ねえ?堤さん、藤本さん(笑)

T会計も人が入れ替わり、自分も足が遠のいてきているので、この流れがいつまで続くか分かりませんが、とりあえず自分の息がかかった職員が独立する際には、入会を勧める(強制入会)つもりですよ。

皆さんも勤務時代の事務所後輩や、自らの事務所です業資格保有者がいたら、是非ASNに誘いましょう!(その際は、是非MF15へお願いします!!)

税理士 曾山辰実

# 労働問題研究会

## ●活動内容

労働問題研究会は、一般的な講義形式の勉強会ではなく、労使間における紛争問題や、労働を取り巻く諸問題（派遣、労働組合、労働基準法など）について、メンバー間で積極的な意見交換を行い、ともに学び、与え合う研究会です。

## ●過去1年の主なテーマ

過去1年間は、労働組合について勉強しました。当研究会のメンバーは社会保険労務士が中心となっております（弁護士も数名参加）、通常はあまり勉強することのないテーマでした。

しかし最近は、企業外組合へ相談する労働者が増えてきており、それと同時に実務においても企業外組合とのトラブルについて使用者から相談されるケースも増えてきており、無視できないテーマとなっています。

使用するテキストは、日本労働弁護団が作成した「労働組合実践マニュアル」です。このテキストは労働者側の視点で書かれており、経営者側に立つことが多いメンバーにとっては大変有意義なものでした。

## ●その他

また、毎回研究会後は懇親会を開催しています。その他（気まぐれですが）メンバーで小旅行などにも行きます。（直近では去年、知多に行きました。）

今後も積極的な意見交換を行い、切磋琢磨していきます。みなさんのご参加をお待ちしております。

## ◇労働問題研究会◇

登録メンバー：弁護士3名、社労士30名  
開催場所：名古屋駅、金山近辺の会議室等  
開催日時：奇数月の平日夜間（年6回）  
会費：年間2,000円



## ASNに感謝

ひょんなことから、60歳代後半に社労士業を開業登録した。実務面については、傍にいた優秀な先生の指導を得たが、顧客からの幅広い相談に応えるためには、自分ができる範囲をわきまえ、それを超えるものがどの士業の職務なのかを知り、気軽に相談やお願いができる人脈を作る必要があった。

新人を対象とした異業種交流会があり、その参加者に対しASNからお誘いをいただき、まさに自分の望んでいたこと…と、躊躇なく参加した。

平成13年参加組は、MF7とMF8の2つに分かれ、一番年長だったせいでMF8の世話役を務めることになった。そのため同期の人だけでなく、先輩諸氏の知遇を得たことは、かけがえのない財産となっている。

その後、労働問題研究会、紛争問題研究

会、商法研究会にも参加し、メンバーの皆さんからいろいろなノウハウをいただいている。

この1月で後期高齢者になる私が、実年齢よりは若く見られる（とよく言われる）のは、私より若いASNの皆さんが対等にお付き合いくださっている賜物だと心から感謝している。

高等学校時代の恩師が、その後開業された税理士・社労士・行政書士を80歳で引退されたので、先生にあやかって平均寿命までぐらいは現役でいたいのだが、最近物忘れが多くなった。

顧客や仲間の皆さんに、ご迷惑をおかけする前に引退しなければならないと思いながらも、その時期の見極めは難しい。いましばらく、ご支援とご厚誼をお願いしたい。

社会保険労務士・行政書士 澤木平治

# 紛争問題研究会

## ●開催時期

毎偶数月に開催しています。

## ●参加メンバー

社会保険労務士を中心に、弁護士、司法書士の方が参加しています。

## ●活動内容

毎回、2時間の勉強会と、その後有志で懇親会を行っています。勉強会のテーマは、各会員が業務で携わった生の事例を題材にして、各々が見解を述べあい、今後の業務に生かすべく真摯な議論をおこなっています。

## ●最近の勉強会題材

「消えた年金記録問題」

「整理解雇の実践例」

「労災保険と民事賠償事例」

※講師は、いずれも社会保険労務士

## ●懇親会

勉強会終了後、有志で会場近くの居酒屋へ。業務に関連する情報収集はもちろん、



フレンドリーな雰囲気です。ざっくばらんな楽しいひとときを過ごしています。

## ●会費

勉強会自体の会費は、平成21年の年間会費1,200円/人（ASN会員の会費とは別）なお、途中入会の場合は案分して算定します。

懇親会の会費は、その都度徴収いたしますが約3,000円程度でしょうか。

## ●今後

この研究会での出会いを大切に、真剣な勉強の場、情報交換の場、なにより、お互い切磋琢磨しながら楽しく活動していきたいと考えています。

紛争問題研究会は、決して揉め事の好きな連中が集まっている会ではありません。

昨今急増中の労働紛争を中心に、労使間で起きている問題を中心に勉強しています。少人数制（と言っても参加制限をしているわけではありません）で、生々しい話が飛び交っています。

紛争問題というのは、ひとつの事案について様々な意見があり、これが正解といったものはありません。様々な考えを知ることができ、それが一番の勉強となります。

毎回、とりあえずは発表者を決めています。発表者は口火を切るだけで、あとは堰を切ったように他の参加者が勝手に話し出します。一番発言の少ないのが発表者ということもあり得ます。

だから2時間はあっという間に過ぎてし

まいます。それ故、毎回、延長戦として話題が懇親会に持ち込まれます。

我々は揉め事をお金に換える研究をしている会ではありません。無用な揉め事を未然に防ぐために、揉め事の実態を研究しているのです。

紛争とは、対立というよりも考え方の相違だと考えています。従って、無くなるものではありません。しかし避けられるものならば避けた方が賢明です。

紛争解決には相手の考え方をよく知り、尊重した上で、こちらの考え方も理解してもらって、相互に合意できる領域を見つけることです。

紛争解決、あるいは予防こそが社会貢献だと考えています。

社会保険労務士・行政書士 岩瀬 秀幸

# FP研究会

## ●活動内容

FP（ファイナンシャルプランナー）として企業活動や個人生活を支援するのに必要な分野をテーマに、メンバーや外部講師を交えたセミナーやディスカッションを年5～6回程度行っています。設立当初のメンバーに加え、随時新メンバーが参加しており、気がつけばASNきっての大所帯となっている研究会です。

勉強会では、仕事や個人で役に立つ講義や意見交換を、懇親会では大所帯ならではの賑わいで、明るく楽しく活動しています。

## ●メンバーの人数・資格

約40名程度の会員で構成されています。年代層も幅広く、女性会員も多く参加されています。資格は比較的、税理士・社労士が多いですが幅広い構成となっています。

## ●過去の大会

実は君も…血液型B型70%??の恐怖…どうりで会話が成立しなかったのね事件  
お盆真っ只中で突然のお誘い…おっさん3人しか参加しなかった伝説の暑気払い事件  
運営幹事が飲みすぎ…懇親会の最中にzzz事件「Fさん…アナタですよ…アナタ…++」  
怪奇…顔文字だけの出席しますメールが…事件。でも、誰かはすぐに分るんですけど…♪



## ●過去一年の主な活動テーマ

- 米国発金融危機：今、何が起きているのか？ 講師：白石誠司さん（アナリスト）
- やってみようオンライントレード！知りたいみんなの投資 講師：仙田浩人さん（税理士）
- 敏腕税理士が伝える相続の心得！ 講師：武藤高治さん（税理士）
- 相続税一財産の把握・評価に関する税務調査の傾向と対応の実務 講師：村上正城さん（税理士 外部講師）



## FP研究会に参加して

私はFP研究会で多くのことを学びましたが、いつも感じることは「FPというのは、いろんな土業の方に共通したテーマだなあ」ということです。

たとえば生命保険を絡めたライフプランニングでは、自分自身の人生設計を考え、その生命保険の商品について見直すことができましたし、同時に生命保険という商品を使った節税のことも学ぶことができました。

また、相続をテーマにした勉強会では、相続の概要を法律的に税務的に把握することができ、不動産鑑定士として相続のアドバイスを求められた際に、体系的に説明することができました。

一方、FP研究会では外部講師の招聘も多く、私の記憶に強く残っていますのは、スイスに本社があります外資系銀行東京支店長による、プライベートバンキングについてのお話です。

プライベートバンキングというものをよく知らなかった私としては「こんな預金制度があり、世界には大金持ちが多い」と驚いたのを昨日のように思い出します。

このようにFP研究会では、いろんな方から多種多様な分野の話を開けて、仕事において大変役に立つと同時に、私的にも「お金」について広く学ぶことができ、大変有意義な会だと思っています。

不動産鑑定士 李明源

# ビジネスモデル研究会

## ●活動内容

2か月に1度、勉強会とその後に懇親会を行っています。勉強会のテーマはMFの名称である「ビジネスモデル」です。

つまり「土業のネットワークを使って新たなビジネスモデルができないか」を模索すべく、メンバーが講師となってディスカッション形式で、各土業の最近の業界の状況や、それぞれの業務にどのようなかわりがあるかなどを議論しています。

## ●ビジネスモデル研究会の特徴

当研究会の特徴としてはメンバーの多様性があります。普段は真面目ですがお酒を飲むとやたら明るくなる代表幹事を筆頭に、「羅生門」好きで話が長い先生、いまだにバブルの再来を夢見る先生、おしゃれで男前の先生、新婚のため幸せ太りが懸念される先生など、個性派の歴代会長たちに加え多様な面々が集まっております。

しょちゅう話が脱線して収集がつかなくなるのが玉に瑕ですが、お互いの知人や友人を紹介しあうなど、ASN以外でも交流の輪を広げています。



## ●過去1年の主な活動テーマ

- ◆ 環境ビジネスと土業  
講師：田井能久さん
- ◆ 土業の組織論 講師：松本拓也さん
- ◆ 事務所の開設から運営まで  
講師：西山一博さん
- ◆ 海事代理士のビジネスについて  
講師：水野善弘さん

## ●今後どのような活動をしていきたいか

メンバーに個性派が多く実務経験豊富な先生方が多いので、開業年次が浅い方は少々なじみにくい側面もあるかも知れませんが、“ちっちゃなことは気にしない”おおらかで明るく、長い目で信頼関係を作って頂ける方を、どんどんお迎えして楽しい会にしていきたいと思っています。

## 10年前そして10年後

ASNが結成10周年を迎えたという事で誠におめでとうございます。

私は入会してまだ3年程度と、ASNの歴史を語る資格はないのですが、「記念誌を作るから、オメーも何か書け！」という身に余る程の光栄なむちゃ振りを頂きましたので、つらつらと自分の思いを述べさせていただきます。

10年前の私は33歳。東京で勤務鑑定士をしていた頃で、35歳転職限界説を信じて焦っていました。結果として悩んでいるうちに、些細なきっかけで北海道に転勤となり、転職はその3年後になりました。

東京にいる時に転職しようと思っていた会社は、新興の不動産ファンドで、赤坂でカッコいいビルを構え、美しい受付嬢がいた

ものですが、昨年の金融危機により破綻してしまいました。

あのとき東京に留まり転職していたのなら、今の自分はどこで何をしているだろうと時々思います。

今の毎日の生活は、どちらかというと単調で、昨日とまるで違う『今日』が急に始まることはありません。でも、今日のちょっとしたきっかけや人の出会いが、来週の金曜日の予定を埋め、半年後の楽しい旅行の計画でわくわくする毎日や、10年後の自分の人生でも変えてくれるものなのかも知れません。

このASNで生まれる出会いが今後のすばらしい関係を作り、さらに10年後にお互いがお互いの出会いを感謝できている場であることを祈念いたします。

不動産鑑定士 田井能久

# エルフ

## ●活動内容

女性限定の交流を目的とした会で、年2～3回、食事をしながら情報交換をしています。

## ●過去1年の主な活動

### ●「ランの館 THE ORCHID ROOM」

『雰囲気抜群！お料理も最高！でワインを片手に語らいながら、とても素敵なお食事会でした☆』

### ●「世界の山ちゃん 錦店」

『いつもとは趣向を変えて、飲み放題で会費3,000円の“激安飲み会（笑）”でしたが、個室のお座敷で名物手羽先をいただきながら、すごく気楽に楽しめました☆』

### ●「すゞ家」

『メンバーの社労士先生行きつけの大須にある、とんかつが美味しいお店の2階を貸し切って、各自が持ち寄ったおすすめのお酒と共に深夜まで語りました～♪』

## ●メンバーの人数や、資格

メンバーは経験豊富なベテランのお姉さま方から、ASNに入会したてのフレッシュな女性士業の方まで様々です！毎回何名か初参加の方もいらっしゃいます。女性の士業であれば資格を問わず、いつでも参加でき、開業・勤務は問いません。初参加、もちろん大歓迎～♪



## ●エルフォーラム開催時の流れ・平均予算

基本、飲み会です（笑）。開始後、みなさんの雰囲気が馴染んできたら、近況報告を兼ねて自己紹介！その後はエンドレス？でトークして、終電のある方から自然に解散する感じです♪

## ●よく開催する場所

お店は決まっていませんが、名駅か栄周辺で行うことが多いです。大人のいいオンナ（？）が、美味しいお料理を囲みながら語らい愉しめるお店で開催できるよう心がけています♪

## ●今後どのような活動をしていきたいか

『女性で士業である』という共通点を持った方々ならではの、日常の出来事などの会話は、共感できて楽しめること間違いなし！？おいしいお料理を囲みながら、ゆっくりとお話しませんか？

このたびはASNの設立10周年をお慶びもうしあげます。

私は開業してまもない頃知り合った先生にお誘いいただき、ASNのメンバーに加わらせて頂きました。

毎年開催される定時総会や賀詞交歓会では多くの他士業の先生方と知り合うことが出来ました。また、各種勉強会やイベント、ゴルフコンペに参加させていただくなど、私にとってASNは大変有意義且つ楽しい会でありました。

ASNで知り合った先生方とは仕事の依頼を互いにし合うというだけではなく、ゴルフ仲間や同じ女性同士話し合える友人として、公私ともに今でも仲良くさせていただいてお

ります。

過去にイベント委員長をさせていただいたときには、大変な面もありましたが、普段参加しているだけでは味わうことができない連帯感・達成感を感じさせていただくこともできました。今では良い思い出です。

私自身は現在MF1のメンバーとして参加させていただいております。今後もミニフォーラム及び全体行事への参加など、何らかの形でASNとは係わり、また協力させていただけたらと思っております。

ASNの今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

行政書士 林 宏 美

# 岐阜F

## 進化する岐阜フォーラム

岐阜フォーラムは、今から4年前に立ち上がりました。2ヵ月に一回の親睦会形式でスタートしましたが、そのスタイルは今も続いています。

当時、ミニフォーラムのあるべき姿として、勉強会と懇親会を組み合わせた形が良いのか悩みましたが、ASNには誰でも自由に参加できる多数のフォーラムがあり、十分な研鑽を積むことのできる場が用意されていることから、あえて岐阜に縁のあるサムライ（士業）たちが、緩やかな横断的連携をとることができる関係を築くための「親睦の場」としたのです。

そのため「先生」という呼称は使わず「〇〇さん、〇〇ちゃん」と親しみを込めて呼び合うようにしています。

代表幹事としての4年間は、正直いって大変なこともありましたが、メンバーの皆さんに本当に助けられた4年間でもありました。

ユニバーサルジャパン日帰りツアーや、新しく岐阜の名所となったシティータワー43の最上階レストランでのフォーラム開催など、斬新な企画が自然に持ち上がり、常に活性化することができました。親睦を通じてお互いの人柄を知り、信頼が生まれ、プロ同士の業務の連携に発展しています。

今年度から弁護士の青山さん（青ちゃん）に代表幹事が替わりました。私の至らなかった部分が補完され、新たな岐阜フォーラムとして進化していくことと思っています。

社会保険労務士 重谷 一郎



# 法人制度研究会

ASNについては、設立当初からではないが、私は割と早い時期から活動していたので、今となっては『古参』ということになるのかもしれない。

初めて参加したのは、弁護士さんが民事再生の手続きについて説明する旨をウェブサイトで見ため、当時のMFの幹事に突然のメールを出したのがきっかけである。

結局そのときは、都合により講師が欠席となってしまったので、そこでは雑談だけして、引き続き懇親会にも行ってみた。初めての参加で周りの人は知らない人ばかりだったのに、温かく迎えてくれたことが嬉しかったことを覚えている。

私は入会当時は「知らない人ばかりだから参加する」という姿勢だったのが、最近では「知らない人ばかりなので、参加するのが

億劫だ」という姿勢になっていることに気がつく。あれから数年、いつの間にかMFも15までできており、また各研究会もかなり増えている。

ASNの会員についても、今では知らない人の方が圧倒的に多くなっている。日々の忙しさにかまけていないで、たまには知らない人とも交流をもたなくてはいけないなとも思う。

司法書士 伊藤 宗利



# 三重F



## ●活動内容

三重フォーラムは、活動を開始してやっと2年のまだまだ新しいフォーラムです。基本は、年6回偶数月に、近鉄四日市駅前の地場産三重の会議室で、約2時間程度の勉強会をしています。その後、駅周辺の居酒屋等に移動して懇親会を開いて交流を図っています。

## ●過去1年の主な活動テーマ

- 『年金記録問題の現状について』  
講師：社会保険労務士 大森茂樹さん
- 『債務整理の現状について』  
講師：弁護士 西尾有司さん
- 『ヒット商品における特許』  
講師：弁理士 堀木克志さん
- 『損害保険等について』  
講師：行政書士 帯山勝一郎さん

## ●メンバーの人数や、資格

現在、三重県つながりで集まった会員数は15名程になり、着々とメンバーも増えています。三重県で開業している方だけでなく、三重県在住の方や三重県出身の方など、幅広く参加していただいています。

年齢層も幅広く、毎回、親睦を図りながら情報交換をしつつ、真面目に勉強会を行っています。

## ●三重フォーラムの重大出来事

平成19年度から数名でスタートしました。続いてよかった～！おかげさまで、着々と会員も増えています。興味のある方は、どこからでもお気軽にご参加ください。レクリエーション等も今後できるといいですね。

## ASNのご縁とネットワーク力

私の入会のきっかけは、開業まもない頃に偶然出会ったI先生の勧めでした。その後、名刺交換会でN先生に誘って頂いてMF8に参加しました。

さらに、労働問題、紛争問題の各研究会にも入会し、三重フォーラムには2008年の立ち上げから参加しました。全て元を辿れば偶然の出会いがご縁となって繋がっており、アイチ士業ネットワークの大きな存在に驚きます。そして、いつも周りの皆さんから親身にして頂いて心から感謝しています。

また、今日までを振り返ると沢山の思い出があります。勉強会は勿論、イベントやレクにも積極的に参加しました。昨夏のキャンプでは、夜のキャンプファイヤーで、私はなぜか『火の神』になり、全員が輪になって炎を囲み妙なフォークダンスに盛り上がりまし

た。キャンプ場の職員かと思ふほど汗だくで活動し着替えが足りず、帰りのバスを見送る際は、みんなの乗ったバスが涙で見えなくなるまで手を振り続けました。感謝！

また、一昨年の第1回ソフトバレーボール大会では、優勝への異様なプレッシャーがかかる中、完全優勝を成し遂げて侍ジャパンとなり命拾いしましたが、昨年の第2回大会では大接戦の末に惜しくも準優勝。涙々の落武者ジャパンとなりました。

他にも様々なイベントやレク、ソフトボール大会、宿泊企画等々、毎回楽しく参加する中で大切なご縁と多大な活力を頂いています。ASNとの出会いに心から感謝、感謝の毎日です。いつもありがとうございます。

社会保険労務士 大森茂樹

## 尾張F 尾張に吹く幸せの風

愛知県の県名の由来である「あゆち」は、万葉の昔から伝わる尾張地方の伝説、伝承の言葉で「海から吹いてくる幸福の風」をいい、「あゆち」思想というのは、異なったものを一つに融合する思想だそうです。

尾張Fは、名古屋市を含む愛知県西部地区の会員を対象とする地域会で、各MFや各種研究会のように勉強会や親睦を主として密接に交流する会ではありません。どちらかというと「地域のネタや地縁などで軽く盛り上がりましょう」といった、ASNの中では遊軍的な存在の会です。

士業（サムライ）というものはいつも真剣勝負。刀でいつ何時斬り合いになり「サムライは己を知る者のために死す」とばかりに引責・頓死するかもしれません。

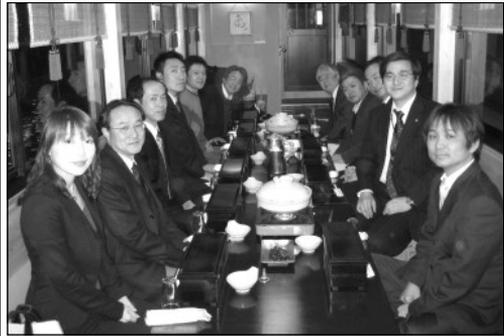
そんな殺伐とした、いや生き甲斐のある（？）毎日を、ひとときの間だけ忘れて、ハッピーアワーには閻魔顔からエビス顔になって、豊かな尾張の「あゆちの風」に吹か

れて幸せな気分になりたいものです。

こういった趣旨ですから、参加者・開催日などは特に決まっていません。参加対象者は尾張地区に在住・勤務する士業の方全てです。

昨夏には各MF、研究会の有志同士で声をかけ合い、名駅前のビル群を仰ぎ見るビアガーデンで十数名で集うことができました。また他会主催の屋形船遊覧などにも参加しました。

司法書士 林 秋彦



私は弁理士の資格でASN会員になっているので、この会では比較的異色な存在のようです。そのおかげか、ASNの理事もさせて頂きました。

今までの人生の中でそういう立場は初めてで、少々大袈裟ですが、組織の運営を目の当たりにして、とても勉強になりました。

私は研究開発の部署での企業勤務の経験はありますが、こういった部署は一日中何か考えているか、手を動かしているかで、あまり組織だって何かをするということはありません。（経験年数が少なかったので、そういうふうに見えただけかもしれません。）

そういうことも手伝って、ASNのように理事会があり、各MFがあり、色々と役割分担を決めて、スケジュールを決めて、会長が中心になって課題を淡々とこなしていくことが凄く新鮮でした。

そして、声をかければ必ず何人かが、

積極的に集まってくるというのもまた吃驚でした。名刺交換にしても、皆さん活発でノリが良く、とても楽しそうな姿が印象的でした。

弁理士ばかりが集まっている懇親会ですと、名刺交換にしても、もう少し大人しい感じが致します。それはそれでじっくり話ができて良いのですが、そういう会に出て行くのは嫌と公言する弁理士もいますので、そういう弁理士さんは、ASN風なところを見習うべきだと思います。究極的には人とのつながりで毎日やっていけているわけですからね。

それならば、私が沢山の弁理士を誘ってASNに引き込み、ASNの良さを伝えればいいのではないかとわれそうです。

でも、それは殆どできていません。なぜなら弁理士は珍しいというだけで、羽を伸ばせる気分になり、とてもリフレッシュできているからです。

弁理士 小林 かおる

# グルメ同好会 ゴルフ同好会



【平成21年9月 香港ツアーにて】



【平成21年10月31日 フォレストみずなみカントリー】

## 平成20年度会長として

歴代会長の座談会に参加できなかったにも関わらず、コラムという形で発言の機会をいただきましたので、この場をお借りして対談に関連した雑文を書かせていただきます。

関係ありませんが、この文章を書いているとき（10月8日）は、新婚旅行から帰国し、朝方の台風直撃で散らかってしまった事務所周りを片付けたところでもあります。

まず、私がASNに参加したのは平成17年9月のことで、まだ税理士登録前だったのですが、友人の社労士さんの紹介で入会しました。

ASNに参加したことで良かったことと言えば、仕事を紹介していただけたばかりでなく、「安心して仕事を紹介できる」環境ができたこともあります。

また、会長を務めさせていただいて、

組織を運営することの難しさと「いかに周りの人々に支えられている」ことを痛感したこともあります。

一番印象に残った出来事は、参加した行事の中では一泊旅行（篠島、キャンプ）であり、会長時代においては、ヒルトンでの新入会員説明会で、断らないといけないほどの参加希望者が来てくれたことを挙げたいと思います。

また、無事に任期を勤め上げることができたのは、他の役員の方に本当に恵まれたというヒトコトに尽きます。どうしてもこのことは伝えなかったもので、ここで改めて感謝申し上げます。

さて10周年を迎えましたが、次の10年というのは「アイチ」という枠を超えて愛知・岐阜・三重の三県において、より広く、名実ともに、どの土業界でも認知された団体になっているのではないかと思います。

税理士 鳥居翼

## 歴代会長座談会

### 【出席者】

- 初代会長 石田 昌宏 (公認会計士・税理士)
- 2代会長 鷺野 直久 (公認会計士・税理士)
- 3代会長 可児 晃 (弁護士)
- 4代会長 西山 一博 (弁護士)
- 5代会長 松本 拓也 (税理士)
- 6代会長 山田 智博 (司法書士)

この座談会は平成21年10月5日に、石田会計事務所の会議室をお借りして行ったものです。



### ーASNに参加したきっかけ

**司会：**皆様本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

まずは、ASNに参加したきっかけをお願いします。といっても設立時からのメンバーもいらっしゃるわけですが。

**石田：**僕が始めたから、僕は当たり前に参加で。鷺野さんを誘ったのは、なんか研修があった時だよ、業界の。

**鷺野：**私は、初期のコアメンバーが10人ぐらいいらっしゃって、その次ですね。たまたま研修会で石田さんと会ったときに、私も独立して監査法人を辞めた段階だったので、参加しませんかと誘われてですね。

**可児：**私は平成10年のフレッシュマンフォーラムで、確か石田さんと同じテーブル。ハッキリと覚えては無いんですが、その後で飲みに行った記憶があるんですよ。

それがきっかけで、そのときに一緒だった、石田さんや李明源さん(鑑定士)や伊藤智香さん(税理士)とか、ASNの当初の中心メンバーだった人たちと勉強会を始めて。

**石田：**僕の中で二つ目に作った交流会の初代弁護士なんだよね。

**可児：**私はどちらかというとASNというよりは勉強会にずっと参加していたというイメージだったんですけど、いつのまにかその勉強会がASNのMFの中に取り込まれるような形になっていったという。

最初ASNの立ち上げの段階では、スタッフには入ってなかった。そういう流れに身を任せ

てASNの会員になったというのがきっかけですね。

**西山：**僕は2002年だから平成14年、2001年から2002年までアメリカに行っていたんですけど、行く前から実はASNに興味を持って、入りたいなと思ってたんです。

アメリカにいるときに、ホームページを見て、どこのMFがいいかなど。それでMF8が当時一番新しかったんで、そこの問い合わせ先のところへ、直接メールを送ったというのがきっかけですね。

**石田：**MF8の第1回って出てますよね？

**西山：**出てないです。何回目から出たのかは分からないですけど。その頃は各士業ごとの発表とかやって、それでちょうど弁護士がいないということだったので、5月に僕が戻って来ますからと。

**石田：**それって僕がやりとりしました？

**西山：**そうじゃないかと思います。

**石田：**多分、そうですね。

**西山：**それでメールを送ったら、いいですよ。「各士業ごとの発表をしてるから、戻ってきたら弁護士の業種について発表したらどうですか」みたいなことがあって。

**石田：**ちょうどMF8に弁護士がいないなあと思ってて。

**西山：**それが最初ですね。

**石田：**忘れてたなあ。MF8が僕が関わった最後ですからね。後はもう関わってないので。

司会：可児さんがMF3で、西山さんがMF8ですよね、松本さんは？

松本：私はなぜかMF3なんですよ（一同笑い）

私が入ったのは5、6年ぐらい前で、私もインターネットを見て、たまたま石田さんがイベントで発表された時だと思うんですよ。銀行の貸し剥がしの裏側みたいな内容で。平成15年ですね。それが初めて参加した日です。

中小企業センターで講演を聞いて、そのときに可児さんや、志水正芳さん（税理士）や、奥村志保さん（行政書士）がみえて、そのまま飲みに行った流れでMF3に。可児さんに「MF3に来なさい」と言われて（笑）

新しいMFとか、ASNのシステムとかわからないまま、MF3しか知らないまま生きてきた、そんな感じですね。それがきっかけです。

山田：僕はですね。平成15年の2月の新年会、確かレジャックの斜め前にあったビアホールみたいなところで開催されたやつ。そのDMが来たんですよ。

それで初めて参加して、そのときに浅野哲司さん（税理士）や、武藤高治さん（税理士）が「ぜひMF3に来て下さい」と、それでMF3に行きました。だから参加したきっかけはDMですね。

### －会長になったきっかけ

司会：続きまして、会長になったきっかけをお話していただければ。



石田：いや、僕は別に、仕方なく（一同笑い）

（役員を）降りた方がいいかと思って、1回降りかけたんだけど、みんなにかついでもらえたんで。

鷺野：ちょうど、出向というか、金融庁に行ったときに？

石田：行くときにASNの規定作って。

鷺野：出向中に重なってたんだっけ？

石田：（父の会計事務所を）辞めてすぐぐらい。金融庁に入ってから会長になりました。

鷺野：じゃあ、ダブってたんだね。

司会：鷺野さんが会長になられたのは？

鷺野：石田さんの後だったんだけど、5月ぐらいに次をお願いできますかとと言われて。まあ、ずっと石田さんがやったほうがいいのかなと思ってたんだけど、石田さんが一年で辞めたほうがかっこいいと思うもんだから（一同笑い）



（石田さんに）その頃は（会計事務所を）辞めたんだよね？まあ、そういった公務員でもあるし、私もちょっと年長だったんでね。とりあえずやってくださいということで。そのころ幹事長だったんだよね、私は。

初代の会長の時の幹事長だったんで、みんなで降りよう、交代していこうという話もあったんだけど、やっぱりちょっとは役員が残ってないと、次が難しいだろうと言うことで。

石田：当初はね、ほどほどの役をやった中の一人が、会長で残っていったというつもりで、鷺野さんに譲って。鷺野さんから次に譲ってもらってという流れが出来てきて。

鷺野：結局一年ぐらいで変わっていった方が、新陳代謝はいいのかなと。普通のロータリーとかはそういうのじゃないからね、もっとASNは自由な感じなんで。

司会：山田さんの時には、2年やったほうがいいんじゃないかという話も出てましたよね？

山田：出てましたね。ただ、負担が大きい。

司会：副会長が会長になるっていうのも、山田さんの時からじゃないですか？

一同：いやいや、元からそうでしたよ。

可児：理事をお願いする場合も2年間がんばってね的な感じで。まあ3年も4年も負担かけることは無いからって、そんな感じで声をかけてた覚えがある。

鷺野：（会長に）会計士が続いたから、次は弁護士さんに。

石田：お願いするときに、可児さんが副会長で、翌年の会長候補っていうところまでは決まってる。

**鷺野**：やっぱりね。方向性をちょっと決めておかないといかんということで。

**可児**：会長候補の話は、最初はみじんもなかった（一同笑い）

私になったきっかけというのは、昔は理事幹事会が、理事会と幹事会とそれぞれ別々に行われていた時代があって、私がMF3の幹事と言う形で、幹事会に参加するようになって、それで初めてASN全体の行事とかに参加するようになったんですけど、そこで鷺野さんに目を付けられて、副会長にならないかと。

平成15年になったら、既定路線のように「会長になってね」と、そういう依頼があって。

会計士が続いたので、他の士業の方というのが念頭にあったんでしょうけど。それで仕方なくやらざるをえないかなという状況になったので、引き受けたという。

**西山**：僕は前の年、副会長じゃなくて、副幹事長だったので。副幹事長になったのは、可児さんが弁護士の同期というのがあったから。

元々さっき、ホームページを見て送ったと言ったけれども、そのホームページを見ようと思ったきっかけっていうか、入りたいと思ったのも、可児さんとか、伊藤陽児さん（弁護士）とか、知ってる人が入ってて、興味があったということですね。

それで可児さんが声をかけてきてくれて、とにかく副幹事長は何にもすることが無いからと（一同笑い）

**司会**：だまされたということですね（笑）

**西山**：なんせ副会長というのがあっての副幹事長だからと。理事会にだけはその代わりに来てくれと。理事会に来ればいいからと。

確かにそこまでは本当で、副幹事長はなんにもやるのが無かったし。ただ理事会に出るだけだった中で、来年の三役ということで、僕と小林かおるさん（弁理士）と堀田泰司さん（司法書士）の3人が選ばれて、小林さんの事務局長が決まった。

僕か堀田さんのどっちが会長になるのかって

のは決まっていなかった。で、堀田さんが、「当然西山さんがやるでしょ」みたいな感じで言ってみて、いつのまにか会長になってたっていう感じですね。

**松本**：私は西山さんに、一番楽だからって言われて（笑）。実は（お願いされたことが）あんまり記憶にないんですけど（一同笑い）

なんか成り行きで、私が副会長にということになって、その流れで、次は会長ねということ。

**西山**：国際問題研究会を、鷺野さんと僕と松本さんと三人でやろうよということで、立ち上げて、その関係で松本さん。鷺野さんはもう前にやっている人だし、「じゃあちょっと副会長か副幹事長かやってよ」って言う話をさせてもらった。

**松本**：言われるままに副会長をやって、そのままスライドで、言われるままに会長をやっていったという。

**山田**：僕は副幹事長からいきなり。西山さんと同じように。

**西山**：僕が山田さんと仲が良かったんで、そのままお願いということで。

**山田**：最初断ったんだよね（一同笑い）あれ、マリオットかどこかで、ラウンジで飲んでるときに。

**西山**：お酒飲ませたら良い返事がもらえた。

**鷺野**：税理士と司法書士（と会長になって）で、これでバランス良く。

**一同**：そうですね。

**司会**：もっと面白い話があるのかなと思ったんですが、みなさん何となくなってしまったと言った感じなんですね。

**鷺野**：そんなに揉めることはないんじゃないですか？

**石田**：一年前からずっと準備されてての結果なんですよ。

**可児**：それなりにコンセンサスの取れる方ということはあるですね。

## 一会長になって良かったこと

**司会**：次は会長になって良かったことを。やっぱり、やって良かったよと言う話を書いておかないと、みんな何となく会長になりましたというのもちよっと（笑）

**可児**：役員を引き受けることがなかったら、ASNの他の会員の方とは、自分が所属するMFでのつながりしかないけれども、会長という形になると、少なくとも理事の人たちとはすごく親しくなれるし、MFでの接点が全くない会員の方とも、会長の立場として接点を持つことができたりとか、話なんかもしやすくなる、それは非常に大きいんじゃないかな。



**西山**：それに尽きますね。僕より前の会長なんかは、ASNに結構前からいるから、知り合いも多くて。まあこの3人（石田さん・鷺野さん・可児さん）なんかはそういう状況だったのに、自分が理事に入ったときは、全く誰も知らないといっている状態です。

理事の人たちはお互いに知り合っているから、みんなは名前を知ってるけど、僕だけは知らないし。周りの人は僕の名前だけ覚えればいい訳じゃないですか。

みんな僕の名前を呼んでくれるんだけど、僕は全員の名前を覚えられないから、全然名前が出てこないぐらい、知ってる人がいない状態だったんだけど、会長をやって知り合いが多くなったんで、そこがやっぱり一番大きいかな。

**松本**：可児さん、西山さんと同じような内容なんですけど、知り合いがまず増えたということと、名刺交換会でも向こうからご挨拶をいただける。

**司会**：会長だからという事で来ていただける？

**松本**：そうですね。あとは、私のときに各MFを回ったんですが、岐阜フォーラムの食事会があって行ったんですけど、あれも会長をやってなかったら、岐阜まで行かなかっただろうなど。

三重にも行ったんですけど、その時は終電を気

にしながら、ドキドキしながら飲んだんですが…（笑）

会長をやってなければ、やっぱり三重までは行かなかっただろうなど。そういうことでも知り合いが増えた。

**山田**：私の時は、なんかいろいろやったじゃないですか、規則とか作ったり。結果的に、一枚岩になれたというか、みんなの結束が出来た、やり遂げたみたいなの。

まあ中途半端なところもあったんですけど、一応形のある物を作った。夜な夜な議論したり、メーリングリストで盛り上がりたりとかで、普通に出会うだけでなく、何か一緒に物を作りあげたというところで、よかったなど。

**鷺野**：私の時は、石田さんが、個人で始めたグループっていうのを、もうちょっと組織的にするような過渡期だったと思うんですけど、事務局の志水さんのお手伝いもあったし、組織を作るところで、いろいろと勉強できたなど。

もちろん、いろんな人と知り合いになったのも大きいんですけど、フォーマル、インフォーマル二つあると思うんですけど、そういった組織の体験をしたのが役に立ってますね。

いま、会計士協会の役員になってるんですけど、へんな話、似たようなもんだなど、どここの組織もね。やっぱりいろんな部会があったり、ミニフォーラムがあったりして。

私はどちらかという会長の時よりも、幹事長の時の方が面白かったな（笑）そう思うんですけど。いろんな部会に行ったりして、パトロールとかいろいろ言われましたけど（一同笑い）

今はちょっと厳しくなっちゃって、締め付けがあるようなんですけど、基本的にはミニフォーラムの雰囲気でも活動するのがASNのいいところなんで、そのバランスを見ると面白かったなと思いますね。

**石田**：あんまりメリットがよくわかんないというか、自分が中心で動いていた分、元々は営業を気にして始めた部分はあるんですけど。

自分が営業でASNを利用すると間違いなく嫌われるなど思ったんで、極力営業的な話がこ

ないように、そういう話をしないようにして、結果としてASN経由で仕事になったことは、ほとんど無くて。

これは資格にも依るのかなという気がするんですけど、司法書士さんとか弁護士さんに相談したりお願いすることはあっても、ASN(のメンバー)から仕事もらったっていうのは、皆無とまでは言わないまでも、めちゃくちゃ少ないので、これって皆さん資格に依るんですかね？

**司会**：皆さんどうですか？司法書士さんなんかはありますか？

**山田**：結構ここで知り合った仲間が多いですね。

**鷺野**：仕事をもらってこと？

**山田**：お互いに。

**鷺野**：税務だとあんまり関係ないんですかね？

**松本**：私は何回か紹介いただいたことがあります。単発のも含めて。

**司会**：弁護士さんはどうですか？

**西山**：何回かあります。ご紹介すること、ご紹介されることと両方ありますね。

**司会**：会長だから紹介されるというわけではなく、ASNとして？

**西山**：会長は、あんまり関係ないかもしれないですね。やっぱりご紹介いただくのも、MFとか研究会の人からもらって感じで。

例えば理事会のメンバーからっていうのはあんまり無いから、そこは(=会長だということ)あんまり関係ないかもしれない。

ただ、会長をやったことで、より頻繁にMFとかに出るからということかもしれませんけど。

**可児**：やっぱり、ASNを通じて個人的に親しくなった人が、相談しやすいからと言うことで相談してくれたり、あるいは、こちらもわからないこととかを聞いたり。

そういうこともASNの元々の目的の一つでもあったんだろうと思うし、そういうつながりが出来たのもいいところだと。

**鷺野**：会長だったら、やっぱり接する機会が多いもんね。

**可児**：「会長だから」と言うことは無いんでしょうね。会長として積極的に動いているからで。

**鷺野**：石田さんはフォーラム出てないから。

**石田**：出てないからね(笑)

## —印象に残った出来事

**司会**：それでは続きまして、会長の時に印象に残った出来事なんかを教えていただければ。

**鷺野**：ミステリーツアーは面白かった。やっぱり石田さんの時には、オークションというものをやったので、その後ってことでプレッシャーがあったんですけど、伊藤宗利さん(司法書士)がね、なんかいろいろ、秘密裏にどこに行くか分からないツアーを企画してくれたんで。

会長にも分からないんですよ。まあ、私はあえて知らないようにしてたんですけど。

**山田**：鷺野さん、あのとき会長でした？僕はあのときイベントスタッフで、下見に行ってきたので、ミステリーツアーのことはよく覚えてますね。

**鷺野**：イベントっていうのはイベント委員にとっても、前準備とかで楽しんでもらえるのかなというのはありますけどね。

**西山**：そういう意味では、この間の旭高原のキャンプも楽しかったけど、第一回目だったという意味で言うと、篠島一泊旅行はインパクトがあったよね。意外とやる事がなかったんだけど、泊まりだって言うのが、よかったという(笑)

**司会**：篠島は、山田さんのときなので、西山さんの時の思い出はありませんか？(一同笑い)

**西山**：無いんだよなあ。他の人のときなら、もうちょっと真面目な方で言うと、可児さんのときの、発光ダイオード。あれはね、印象に残ってる。あれは「おっ」て思ってたね。

なかなか、普通のMFの発表では無い話だったから、あれは良かったなと僕は思ってる。

**松本**：印象に残ってるのは、郭源治さんの話なんですけど。あれは違う意味で印象に残ってて、ギリギリまでやれるかどうかっていう、ドキドキのね。



1月まで、スケジュール調整が上手くいかなくて、まだ案内が出せない状態だったんで、ホントに実現できるかなど。最悪出来なかったら、どうするんだろうって。

直前まで、なかなか(会長まで)情報が入ってこ

なかったというのもあって、そういう意味ですごく印象に残ってます。実現できたときは感無量でしたね。

**司会：**西山さんと可児さんの時はかぶっている行事が多かったですよね。花見とボーリングが連続であったりして。

**石田：**もともとボーリングと花見と講演会とは基本的なセットですから。

**西山：**僕らの時というのが、伝統的なやり方っていうのを、踏襲していくか変えていくかの端境いにあったのかもかもしれませんね。

もうちょっと前のときは、伝統的なのといっても、それを始めたときだから面白いですよ。でも、それが二回目、三回目と引き継いでやっているうちにマンネリ化してくるから。

別に必ずしも、イベントは講演会じゃなくてもいいんじゃないのかっていうのが出始めた頃だったり、もうちょっと後の時期に、一泊で旅行してもいいんじゃないかって言い始めたりして、僕らはまだ迷いながら踏襲している時期だったのかもしれない。

**松本：**「なんでイベントとレクが分かれてるの？」的な頃ですね。イベントが予算のこともあって、ちょっと中途半端になりつつあって、まあ(講演会とかは)無理じゃないのという意見がでてきたんですよ。

**西山：**あとは個人的に僕がやりたいことはあったんだけど、自分の会長のときにやるのは、ちょっと自分の我を通すみたいでやりにくかったってのもあって。

僕がやりたかったのは一泊旅行とスポーツ企画。それが篠島旅行になったのと、こないだのソフトバレーボールは、私(のMF8)が完全優勝という結果だったわけですが(一同笑い)

**山田：**僕がね、一番印象に残ったのはある方の一言。最初の理事幹事会のときに、会費の

未納問題が前の年から申し送りされてきて、どうするかということになったときに、その方が「引落しにすればいいじゃん」とぼそつと言われたんですよ。

それがきっかけで、「じゃあ引落しにするか」みたいな話になって。

あの一言が、すごくこう自分の中で残ってますね。あれで(この年に未納問題を解決しよう)始まったのに火が付いた。

**司会：**あれ(=会費の自動振替)は、ずーっと話が出てたんですけど、いっこうに進まなかったんですよ。

**松本：**私の時にも、長年の未納者をどうするかってことでリストアップしたんですね。会費払ってないんだけど参加してる人も、結構おみえだったんで。

**山田：**個別に電話して振り込んで下さいとか言ったんだよね。

**司会：**栗本哲さん(社労士)とかですね。

**西山：**僕らの時も、最後に個別に電話をしましたけどね。

**松本：**ただ、そうすると「知らない」とか、「忘れてた」とか、どうやって払えばわからず来ちゃった人も実は居る、と言うことが判明したんですよ。

なので、引落しをいきなりやると言うのはどうなんだろうというのが(その頃は)あったんですよ。

## —ASNに点数を付けると

**司会：**続きまして、今のASNに点数をつけていただけますか。100点満点で。

**石田：**点数にすると難しいけど、とりあえず80点以上にはなるのかなあ。ここまでやれる交流会というのはあんまり無い気がするんで、そういう意味ではよくできてるなあと言うと自画自賛になっちゃうんですけど。

よくここまで育ってるなという反面、逆に受け皿が無いので、古い人が漏れていく。



そこをうまく吸収する組織というものの見本がないので、そこを作るのは難しいんだろうけど、その課題を残してるんで若干マイナスかなと。

**鷲野**：私も今は80点という意見で、だんだん組織的になってきているのかなと思いますね。それがいいのか悪いのかは別として。

古い人の話が出たんですけど、10年経ちましたよね。だから例えば何年でおしまいにする（＝引退する）ということもありなのかなと。

どの会だっただけだからね。例えばあと10年経って、入会して20年になったら引退と、年齢じゃなくて。ちょっと難しいですけどね。

**可児**：私は結構評価してて、95点ぐらい。組織が緩いじゃないですか、これがいいかなと。

あと、あまり参加している人に負担にならないような組織にしたいなと言うのがあって。だから役員なんかも同じ人がやるのではなくて、どんどん入れ替わって行って、新陳代謝がある形になるから、それなりに永続性が維持できていて、割と上手くいってるんじゃないかと。

ただ、これから先の展望になると、正直よくわからないというのがありますが、私自身がわりと居心地がいいので、評価は高いです。



**西山**：僕は現状で言えば、可児さんと同じように、95点ぐらい付けていいんじゃないかな。100点に限り無く近いとっていいんじゃないかと。

ただ、将来的なものというのはいろいろこれからでてくるだろうと。じゃあなんで今のASNが良いと思っているかという、可児さんと重なってきますけど、やっぱり緩い部分があって、例えば会長までやりながら、そんなに大変じゃないというのが最大の魅力なんだろうと。

たとえばJCにしてもなんにしても、理事、会長みたいな事をやろうと思ったら、すごく大変なことになる中で、全然そこまで大変じゃなくて、それでいて組織としても十分やっていけてるとするのは、すごくいいところだと思うんですよ。

ただ今後、年数が経っていけばだんだんその辺りが変わっていくし、いろんな規則も厳しくなっていくし。組織ってだんだん規則が厳しくなる傾向があるので。そうすると客観的にはともかくも、主観的な点数というのは落ちて行かざるをえないだろうなあと、自分から見た点数というのは、かならず落ちていくだろうと。

そうしたときに、どう自分が向き合っていくのかというのが(自分にとって)課題にはなるんだろうなと思います。

**松本**：私は入ったときには95点です。今は逆に90点ぐらいです。なぜ落ちたかという、現状が悪いという意味ではなくて、可児さんと西山さんと同じように、ASNはファジィなところがいいんですよね。緩やかで、いい意味で適当と言うことで良かったんですけど。

ただ、これだけ人数が増えたし、いろんな考えの方も出てきたりして、あるところはキチンとしていかないと、会として成り立たないのかなという意味で、今後は少し窮屈になりそうだとことです。あとは今後の期待ということで、今は90点ぐらいだと思うんですね。

**山田**：僕は80点（一同笑い）

**司会**：徐々に点数が高くなって来たところで、ぐっと落ちましたけど（笑）

**山田**：でも最初からと比べると、やっぱり下がったんですよ。

自分が会長をやって、いろいろ経験したことを考えると、問題が山積みのところがあるんじゃないかと。現状の良いところを踏襲しながら、なおかつ変えて行かなくちゃいけないっ

てことを考えると、ちょっと問題点がいろいろとあるのかなという感じはしますね。

**司会：**山田さんが思われている、いいところというのは、やっぱりあいまいなファジイなところなんですか？

**山田：**それがウリじゃないですか。会費も安く、垣根が無くて、誰でも入っていけるウエルカムなところがね。

ただ、組織が大きくなってきて、末端まで目が届かなくなった時に、一部の人が暴走したりすると、それを止めることが出来ないんじゃないかと。そうなると、ファジイでいいところが、逆にくちやくちやにされちゃう。

**石田：**以前、かなり前のことなんですけど、「いろんな異業種交流会をみんな集めてやりませんか」と、異業種交流会同士の共同交流会というのに誘われたことがあって、当時のASNの中心メンバー4人と知多半島の方まで行ったんですね。

そこでいろんな人が7、80人いたのかな。他の異業種交流会は交流会ごとゴソッと来ている感じで、我々だけ代表者が来ていたんですね。

この異業種交流会を集めた共同交流会は、それでやっとASNと対等になるぐらい、ASNのほうがもう1ランク上の活動をしているなという印象があって、「異業種交流会を集めた共同交流会をやるよと発想した人はすごいな」と思ったと同時に、それと同じレベルの運営をやっているから、ASNって広がっているんだなというのを感じて。

**山田：**土業だけの異業種交流会というのが意外と無いんで。他の異業種交流会って、いくらでもあるじゃないですか。だからそういう意味では、すごく質が高いしいいものがあるって、みんな入りがたがる。

**西山：**そこがまた凄いのが、(土業だけの交流会が)無いっていうのが、無いところに目を付けたのではなくて、みんなが目を付けてて。

石田さんが作る前から、フレッシュマンフォーラムに行くと、みんなこういう会を作ろうとたくらんで、今でもそういうふうにして作ろうとしている人もいると思うけど、後にも先にも成功した人は他にいないんですね。

これは凄いことなんですね。だからフレッ

シュマンフォーラムに行って、しばらく集まりに出てたんだけど、なんか消えてっちゃったから、僕がASNをやっているのを聞いて、「入れてくれないか」って言うてくる人が山ほど居るんで。

そこがやっぱり、一番凄いとこかなというのがありますけどね。その目の付け所がじゃなくて、やり方が凄かった、良かったんだろうと。やっぱりMF単位に分けたというのが一番凄いいことかなって思ってますけどね、僕は。

### —どこを直せば良くなるか

**司会：**では、満点に近いとおっしゃった西山さん以外の方は、どこを直せばよくなると考えられていますか？

**鷲野：**どこを直せばいいというよりは、ASNというのは、やっぱり新しく参加してくれる人にとって良い組織であればいいのかなと思うんです。

だから、我々のように既に出会ってしまった人の方が多くなってきてるとね、我々が逆に変わってしまうことで、点数がちょっと変わってきてしまうこともあると思うんですけど。



**石田：**我々の欲しいものがASNじゃなくなってきたんでしょうね、多分。

**鷲野：**だから、もう10年もASNにずっと参加してれば、知り合いもね、ほぼ9土業全てに出来てしまっている状態だと、ASNへの見方もちょっと変わってくるのかなと。だから私は入ってくる人にとって100点満点を目指すような、そういったASNになっていけばいいのかなと思うんですけどね。

**石田：**両方が相容れる組織って現実味がないような気もするんですね。

**鷲野**：私が引退って言ったのは、そういうニーズが違ってきていると思うんで、前に石田さんとも話したんだけど、OB会を作ったらどうだとか、そういう話もあった。

**司会**：ベテランの人はテイクじゃなくてギブのほうで、我々若い人たちに教えていただけると、新しい人にとって100点に近くなるのかなあと。講師として来ていただく感じを作っていけるといいですね。

**鷲野**：だいたい話を聞いても、前に聞いたことがあるような内容なわけですよ。最初の方はすごく新鮮なんだけど、一巡してしまおうと、またこれかというテーマになってきてしまうし。私も10回以上はMFで話したとは思いますが、ネタも尽きてきますしね。

**可児**：むしろ、それぞれの会員のASNへの向き合い方も大きいのかなと思うので。例えば長く入ってる方でね、積極的にかかわるようにしていけば、いろいろとそこでの発見もそれなりにあると思いますし。

なかなか得られるものが無いなという方は、別にそんなはずといなきやいけない訳でもないから（笑）そこは自由にね、していけばいいのかなと思っています。

個別のミニフォーラムにしても、例えば私の所属のMF3にしても、メンバーも初期の頃と今ではがらっと変わってしまっているような状況だし、やっている内容も結構変わってきているし。

そこは、その時々でミニフォーラムはどんどん変わっていけばいいと思ってるんで。それで個々の会員のニーズがあれば、そのミニフォーラムに参加して行けばいいし。

だからそう考えていくと、どこを直すと言うよりも、こう自分自身がこういう風になったほうがいいのかなのというのが有る訳じゃなくて、今の感じでいいのかなと。それは自然に必要に応じて変わっていくんだろうなって。

**石田**：どこかでMFのナンバーが増えなくなるタイミングないし、卒業させるタイミングっていう課題が遅かれ早かれ来るはずなんで、その時に何か動くんでしょうね。

**鷲野**：会長を辞めてから5年ぐらい、MF2一本というか商法研究会（＝現 法人制度研究会）とかもあるんですけど、そっちのほうは継続してやっています。新旧結構入ってきてる

んでボチボチ面白いのかなと思って楽しませてもらってますけどね。

**西山**：ホントこのままずっと続いたら、何も問題がないっていう風に近いと言っていいと思いますね。

近いと言っても、じゃあ2点なり3点なり(減点がある)というのは何かというと、そりゃ全員が僕と同じように思っている訳じゃだろうからと言うだけの話で、ただ今後98点なのか97点なのかで有り続けられるかということ、それは問題がいろいろ出てくるんだろうなあとには思いますね。



**松本**：そうですね。私は90点ぐらいという話なんですけど、多分100点にはならないから、よく言えば常に理想を求めているわけで。完璧というものは無いから、常に100点を目指していろいろ理想に近づければいいなと思うんですけど。

一つだけ強いて言うなら、方向性が今ちょっとずつブレてきているのかなと、このままじゃ少なくともいけないんだろうけど、じゃあどうすればいいっていうのは、まだ迷ってる段階なのかなと。

それがもう少し具体化して見つければ、また変わるのかなと思います。

**山田**：いろいろあると思うんですけど、やっぱりさっきも言われた、古い方と新しい方との接点が無いとか、MFごとの個別の運営になっている、とかいうのがあるので。

かといって全体会が年に数回、来る人もある程度決まっているような状態のものもあるし、だからいろんな意味で全体をシャッフルできるようなものがあってもいいのかな。

MFだったらMF同士三つか四つをまとめて何

かやるとか、いまソフトボールとかね、ああいうのも交流を図れるんで。

ただ、どうしても幹事同士が知ってる人たちになっちゃうもんだから、いろんな意味でMFごとにこだわるんじゃないかと、一応それが一つの母体として各MFとかがあって、その上で交流できるものもあっていいんじゃないかと。

全体でやるってなると人数制限もあるし、参加出来る人も限られちゃうと全員が全員参加出来る訳じゃないから。

**司会**：それは上から提案すべきなんですか？それとも自然に出てくるのを待つべきなんですか？

**山田**：本来であれば、自然に出てくるのが一番いいんでしょうね。それぞれの人たちが幹事同士でやろうよみたいに、自由にやらせれば。そうするとみんなが交流が広がるし、MFはどこに出てもいい訳ですから。

でもどうしても自分のMFとか、仲のいい人が居るところしか出席しない訳だから。そういう意味でちょっと固定化しちゃってる。逆に新しくMF立ち上げたら、新しい人は全部そこに行っちゃうわけで、確かに仲間は作れるかもしれないけども、そこにまた固まってしまう。



**石田**：でも同じ代で固まるからいいとも思うんですけどね。

**山田**：それも大事だと思うんですよ。最初はそういう形で。

**石田**：新しいのを増やすのは止めて欲しくないなあというのがあるんですけどね。

**司会**：横断的に両方有るといいんでしょうけど。縦と横と。

**山田**：そうそう。

**西山**：MFを増やすか、増やさないかというのは、なかなか難しい問題で、僕は絶対増やすべきだって考え方なんだけど、僕がいまちょっと思ってるのは、理事幹事会がやっぱり機能しなくなってくるんじゃないかと。

これ以上増やしていくと、理事幹事会に出てくる人が多すぎる。MFの数が増えることで理事幹事会が機能しなくなってくる問題がある。

**可児**：そうすると、理事会と幹事会を分けちゃいますか？初期のように。

**西山**：それだと今度は、理事会の意向が各MFに渡らない。

**可児**：それも問題ですね。

**鷺野**：MFが増えれば、やっぱりドンドン増えるからね。いい機会だから、10年なら10年でね、そろそろストップしたほうが。

**石田**：モデルとしてMF2を解散してもらおうっていうのはどうですか（笑）

**鷺野**：いやいや解散はしたくない（笑）みんな大事にしてるからね。ただ、新しい人は新しい所に行っちゃうんですね。我々としては誰か引っ張ってこいと。でもやっぱりMF十いくつかに行っちゃったって話で。

**石田**：そういう話なら、強制的に合併とか。

**鷺野**：MF2も、MF1もそうなんだけど、来年の2月か3月でやっぱり10周年ですよ。ASNが組織になる前からMFをやってる訳で、思い入れというのをメンバーは非常に持ってます。

逆にASNの組織はというと、(MFよりも)短いからそんなのはどうでもいいよと（一同笑い）独立してもいいよという話も結構あるんですよ、既に。

やっぱりそれ（＝既存のMF）は大事にしていけないといけないし、でもドンドンドンドン立ち上げていくと、そのMFをフォローするために幹事が増える。

各MFの報告をするだけで、会議の時間を使ってしまうようになるのは、どうなんだろうと私も思うんですけどね。

もうちょっとコンパクトにしたほうがいいんじゃないかと思いましたね。

西山：そうすると（＝新しいMFを作らないと）各MFの人数が多すぎるという時代が来るんでしょうけどね。そうしたらまたそこで、もう一回考える時期が来るんでしょうけど。

今はと言うと、各MFの人数は実は足りないの、だから新しい人がそういうところに入っていったらいいと思う。

鷲野：MF2でもやっぱり新しい人が来ていたでいるから、続いていると思うし。

### －10年後のASNの姿

司会：最後になります、ここで10年経ちました。さらにもう10年経ったらどうなっているかについて、お話いただけますか。

石田：ただただ、人数が倍ぐらいにはなるだろうし、同じようなことをしてるんじゃないかな。今の延長線上にしかないような気がするけどなあ。よっぽど何かやらない限りは。

鷲野：私はだいぶ変わっているような気がするんですけどね。さっきのMFの数の問題だとか、リタイヤの話だとか、まあ、それは我々が最初に決断すべき話なんだろうけど（笑）

会員同士の出会いの場としては、非常に良いシステムになっているし。ハードルの少ないね。ネットワーク的に持っているんで、そういのは続いて欲しいなと思います。ただ、やっぱり何年か経った人にとってどうなのかなってというのは、また変わってくると思うんですけど。

可児：新陳代謝があるというのは組織だと当然だと思うので、構成メンバーもかなり入れ替わる形になっていく、それはそれでいいと思います。

こういう土業の業種の交流会に対するニーズは10年後であっても消えることは無いと思うわけで、永続できるような組織にこれまでしてきたと思うので、組織として残ってほしいですね。

石田：土業が今のままあるかという問題もあるでしょ（一同苦笑）土業が山ほど居る可能性もあるし。

西山：多分、残念ながら今の僕には受け入れられないぐらいに、僕にとっては非常にイヤな組織に変わってるんじゃないかと予想して（一同笑い）

ただ、それは仕方がないことだろうと。それ

は世代の違いなり、年代の違いなり、僕もその時には50歳近くになってるから、やっぱり今の自分とも違うし。さっき話をしたように、そのときに僕がどう向き合うのかの問題だと思ってますけどね。

松本：私も一緒に、10年後についていけるのかもあるんですけど、人数はあるとこまでは増えていくと思うんで、ひょっとしてなんですけど、今のこのやり方がイヤだという人たちがASNパート2みたいなものを作って。

石田：パート2を作って上手い関係を保てる方が、かえって分裂してめちゃくちゃになるよりはいい気がする。

松本：パート2は、作り方も難しいのと、あと結果として「俺たちだけで勝手に作ろうよ」となっちゃうのは、できれば避けたいなあ。

石田：10年後って言うと、このメンバーでパート2作ろうかって時代でしょ（一同笑い）ここで固まって、若い人と話が出来れば。

鷲野：仕事を引退している人も出てくるでしょうし。

松本：だいぶ変わりますよね。今のこのメンバーも、とりあえずいい年になって、だいぶものの言い方も変わってるだろうし。

山田：多分もっと硬直的になっていると思います。あるのは、法人とかになったりとか。もっと組織的になってるような気がしますけどね。そのうち会長も選挙とかになるんじゃないですか（一同笑い）

司会：選挙はあるかもしれないですね（笑）

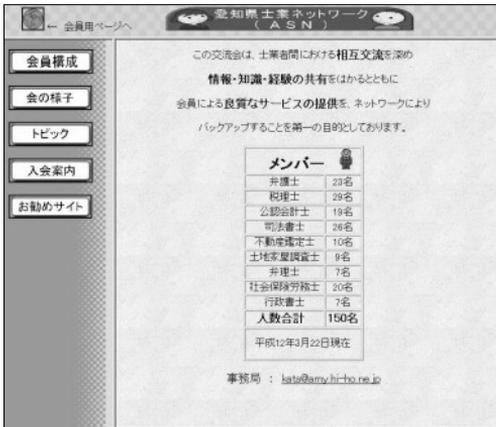
山田：総会がいままで数十人（の参加）だったのが、すごい数になったりとか、委任状の争奪戦みたいなのもあるかもしれない（笑）

西山：あるいは社会的に影響のある組織になってたりして。例えば政治家が当選したければASNの推薦を受けなくてはいけないとかね（一同笑い）

司会：そろそろ時間となりましたので。話は尽きませんが、これぐらいで。皆さん、長い時間、本当にありがとうございました。

一同：ありがとうございました。

司会 小林 雄気（税理士・社会保険労務士）



【開設から2000年頃まで】

ヒマにあかせて自分で作って見たのがこのサイトです。Windows98にオマケでついていたFrontPage Expressというソフトを使っています。

いま振り返るとダメダメのデザインですが、外から見られたときにキチッと組織だと思われるように意識して作りました。(石田)

# ASN公式サイトの変遷



【2004年頃から2009年まで】

石田さんが作成した基本的な骨組みを生かして、シンプルな形に組み替えました。

このバージョンからベースカラーが青から緑に変更になりました。交流会に相応しく、優しいイメージになるようにとの思いを込めてとのことだそうです。(小林)

【2000年頃から2004年頃まで】

自分のHP制作技量に限界を感じていたので、トップページのみ10,000円ぐらいで外注に頼みました。中身自体は、その前のものとほとんど変わっていません。

トップページに載せたトピックを更新できるように、イベントを出せるだけ行うように心がけていました。(石田)



【2010年現在】

HTMLが理解できない人でも更新ができるようにWordPressを使って作成しました。ブラウザだけで簡単に更新できるので、ずいぶんと作業が楽になりました。

トップのデザインをプロのデザイナーに外注し、柔らかな雰囲気で見しやすさを全面に出しつつも、土業の会として他を圧倒すべく、情報量を盛り込むことにこだわりました。(小林)



# ASN年表

年月日	行事名	参加	内容	
平成10年10月23日	第1回 F3フォーラム	7名		
平成11年07月22日	土業フォーラム(第1回ASN)			
平成11年09月16日	土業フォーラム(第2回ASN)		場所: 中小企業センター	
平成11年11月18日	F3・ASN合同フォーラム		場所: 中小企業センター	
平成12年02月11日	フォーラム(交流会)	91名	場所: 毎日ビル国際サロン	
平成12年03月18日	講演会: 長尾幸彦(MCP、経営者)	21名	テーマ: インターネットの現状	
平成12年03月20日	第1回 ゴルフコンペ	17名	場所: 品野台カントリー	
平成12年03月21日	Kミニフォーラム	11名	交流中心(今のMF1)	
平成12年03月22日	Fミニフォーラム	10名	40代中心(今のMF2)	
平成12年03月23日	Bミニフォーラム	10名	勉強会中心(今のMF3)	
平成12年03月24日	Tミニフォーラム	10名	提携営業希望(今のMF5)	
平成12年07月29日	講演会: 野田勇司(公認会計士)	39名	テーマ: 土業提携とASP	
平成12年08月19日	名刺交換会	18名	第6回フレッシュマンフォーラム参加者	
平成12年11月02日	ASN説明会			
平成13年02月07日	三河フォーラム 創設	7名	場所: 豊橋駅近くの居酒屋	
平成13年04月12日	MF6 創設	14名		
平成13年04月15日	講演会: 大塚耕平(元 日銀行員)	26名	テーマ: 金融経済情勢	
平成13年05月27日	BBQ大会	17名		
平成13年07月28日	ASN入会説明会・名刺交換会	30名		
平成13年08月08日	名刺交換会	28名		
平成13年09月21日	グルメ同好会 創設			
平成13年10月11日	新規グループ勉強会		今のMF7・MF8	
平成14年01月19日	ASN新年会・名刺交換会	47名	場所: レパリエホール	
平成14年03月23日	講演会: 古川元久(衆議院議員)	34名	テーマ: 土業の規制緩和	
平成14年05月21日	FP研究会 創設	10名		
平成14年05月24日	商法研究会 創設	13名		
平成14年06月20日	フレッシュ会員歓迎会	9名		
平成14年06月21日	エルフォーラム 創設	14名		
平成14年06月21日	尾張フォーラム 創設	4名		
平成14年07月06日	第1回 ASN定時総会	40名	場所: 安保ホール	
石田会長	平成14年11月16日	セミナー: 安藤政規(経営者)	37名	テーマ: ウイルスなんて怖くない
	平成14年11月16日	チャリティーオークション	37名	103,425円を中日新聞本社内の中部善意銀行に寄付
	平成14年12月14日	理事会幹事会合同忘年会	15名	
	平成15年01月18日	ボーリング大会	8名	
	平成15年02月08日	ASN新年会・名刺交換会	56名	場所: アサヒビアレストラン
	平成15年03月28日	労働問題研究会 創設		
	平成15年06月28日	ボーリング大会	19名	場所: 星が丘ボール
	平成15年07月11日	第2回 ASN定時総会・懇親会	35名	場所: ホテルアソシア名古屋エスペランス

規則も無い任意団体というには、ASNの活動は大きくなり過ぎてしまったため、さらに広く安定的に活動を行うことが出来るように、ASN規定を作成して、最初の会員総会を開催しました。

プレ～平成14年度

当時は、ASN全体の運営について理事会を、MF同士の横のつながりを保つことで会員間の交流を促進するために幹事会を、それぞれ設けて、別々に活動していました。たまには全体が集まった方がいいだろうと、理事会・幹事会合同の忘年会を開催しましたが、その後、個々に活動する意義が薄れてきて、理事幹事会として運営されるようになりました。そろそろ、理事幹事会のあり方を、初心に戻って見直す時期が来ているのかもしれませんが。

	年月日	行事名	参加	内容
鷺野会長	平成15年08月30日	ASN入会説明会・名刺交換会	43名	場所:ホテルアソシア名古屋エスぺランス
	平成15年09月06日	レク:BBQ大会	15名	場所:南知多(魚太郎)
	平成15年09月19日	新規グループ勉強会	18名	今のMF9
	平成15年10月01日	マーケティング研究会 創設	23名	
	平成15年10月18日	講演会:石田昌宏(元金融検査官)	19名	テーマ:金融機関(検査官)の現状について
	平成16年01月24日	レク:冬のボーリング大会	16名	場所:伏見ヘラルド会館
	平成16年02月07日	ASN新年会・名刺交換会	53名	場所:アサヒビアレストラン
	平成16年04月03日	レク:花見	22名	場所:上飯田(中華食堂 茉莉花)
	平成16年04月24日	講演会	19名	テーマ:インターネット・SEO
	平成16年06月19日	イベント:ミステリーバスツアー	30名	
	平成16年07月10日	第3回 ASN定時総会・懇親会	40名	場所:安保ホール・ロイヤルパークイン

ASN規定の施行によって、毎年役員を改選することとなりましたが、全員が一斉に交代してしまうと運営が困難となってしまうため、会長・幹事長・事務局長(三役)については前年度の理事の中から選ぶことにしました。

## 平成15年度

また、「副会長」を新設し、次年度の会長候補が会員の皆さんに見える形にしました。年間活動予定として、秋のパーベキュー大会・冬のボーリング大会・春の花見・夏のイベントと四季ごとに開催することを目標に掲げ、「正副イベント委員長」「正副レク委員長」も新設しました。

	年月日	行事名	参加	内容
可見会長	平成16年08月28日	ASN入会説明会・名刺交換会	37名	場所:ジ・エビキュリアン
	平成16年09月04日	レク:パーベキュー大会		場所:愛知牧場
	平成16年11月02日	MF10 創設		
	平成17年01月22日	レク:ボーリング大会		場所:星ヶ丘ボウル
	平成17年02月05日	ASN新年会・名刺交換会		場所:マ・メゾン(メルサグルメ館)
	平成17年02月23日	国際問題研究会 創設		
	平成17年03月02日	岐阜フォーラム 創設		
	平成17年04月02日	レク:花見(ジギスカン+カラオケ)		場所:サッポロビール浩養園
	平成17年04月16日	講演会:小滝正宏(弁理士)	27名	テーマ:青色発光ダイオードからみた知的財産権訴訟
	平成17年06月11日	イベント:トレジャーハンティング	35名	場所:名古屋マリオットアソシアホテル~司法書士会館
	平成17年07月16日	第4回 ASN定時総会・懇親会	27名	場所:中小企業センター

「MF10」「国際問題研究会」「岐阜F」と新規フォーラムを3つ立ち上げましたが、他方「MF6」が残念ながら解散することとなり、課題が残った1年となりました。また、MFとASN全体との連絡を密にするため「代表幹事・運営幹事」制度を実施することになり、ASN規定の一部改正を行いました。

## 平成16年度

	年月日	行事名	参加	内容
西山会長	平成17年08月20日	ASN入会説明会・名刺交換会	56名	場所:ホテルアソシア名古屋ターミナル
	平成17年09月29日	MF11 創設		
	平成17年10月01日	レク:鵜飼い見学	30名	場所:犬山~木曾川
	平成18年01月21日	レク:ボーリング大会	22名	場所:星ヶ丘ボウル
	平成18年02月04日	ASN新年会・名刺交換会	45名	場所:ホテルキャッスルプラザ
	平成18年04月01日	レク:花見(ジギスカン+カラオケ)	32名	場所:サッポロビール 浩養園
	平成18年04月15日	イベント:ASN全体研修会	28名	テーマ:研修発表(会社法・国際問題研究会) 場所:産業貿易館
	平成18年07月15日	第5回 ASN定時総会・懇親会	41名	場所:安保ホール・ホテルキャッスルプラザ

MFの活動内容を執行部において把握すべく、三役が中心となって各MFを巡回することが議題になりましたが、当面は行わないこととなりました。代わりにMFの開催報告を幹事長に報告する義務と方法について改めて確認するとともに、これを徹底していくこととなりました。

## 平成17年度

	年月日	行事名	参加	内容
松本会長	平成18年09月02日	ASN入会説明会・名刺交換会	55名	場所:ホテルアソシア名古屋(プラスリーエスベランス)
	平成18年09月24日	レク:静岡バスツアー	36名	場所:清水港~大井川鉄道
	平成18年10月04日	MF12 創設		場所:名古屋市教育センター分館(教育館)
	平成18年10月05日	三重フォーラム創設		場所:近鉄四日市駅周辺の飲食店
	平成18年11月04日	レク:健康センターでリフレッシュ	9名	場所:平針東海健康センター
	平成19年02月03日	ASN新年会・名刺交換会	61名	場所:ホテルキャッスルプラザ
	平成19年03月31日	レク:沖縄料理	16名	場所:ルーセントタワー(沖縄料理 どなんち)
	平成19年04月14日	イベント:郭源治さんトークショー	30名	場所:郭源治 台南担仔麵
平成19年07月14日	第6回 ASN定時総会・懇親会		場所:安保ホール・座席はなれ	

会費の支払方法や正式な入会方法が分からないまま参加されている方が多く、会費の未納者への対応について議論されました。各MFの代表幹事が、勧誘の際に周知を徹底することとなりました。自動引落についても検討されましたが、翌年の検討課題とされました。

## 平成18年度

また、新規MFを毎年増やしていくことの是非(MFの統廃合も含めて)や、イベントとレクが分かれていることで中途半端な予算しか割り当てられないため、両者を合併してメリハリをつけて予算を使うようにしたほうが良いのではないかとといった事項についても話し合われました。

	年月日	行事名	参加	内容
山田会長	平成19年09月01日	ASN入会説明会・名刺交換会	57名	場所:ホテルアソシア名古屋
	平成19年09月27日	MF13 創設		
	平成19年11月17日	レク:秋のバス旅行	44名	場所:伊賀の里モクモク手づくりファーム
	平成20年02月02日	ASN新年会・名刺交換会	55名	場所:名古屋ロイヤルパーク
	平成20年04月05日	レク:イチゴ狩りバス旅行	38名	場所:南知多グリーンバレイ
	平成20年05月22日	第1回 合同ソフトボール大会		場所:鶴舞公園 MF8とビジネスモデル研究会の合同
	平成20年06月14日	イベント:一泊親睦旅行	28名	場所:篠島
	平成20年07月12日	第7回 ASN定時総会・懇親会	40名	場所:名古屋会議室 名駅西口店・ビストロファンダール

幹事が交代する際の引継の労力を減らすために、ASN規定や幹事の義務などをまとめた幹事マニュアルを作成して、各代表幹事・運営幹事に配布しました。

## 平成19年度

それまで振込により徴収していた年会費を、事務局の負担を軽減すると同時に、未納の方を無くすために、年1回の引落による自動振替に変更しました。これに伴い、300人を超えていた会員数が一時的に200名強にまで減少しました。

賛助会員について、承認の要件が定められていなかったため、中小企業診断士とFP技能士に限るものとし、会員2名の推薦を必要とすることにしました。

	年月日	行事名	参加	内容
鳥居会長	平成20年08月30日	ASN入会説明会・名刺交換会	58名	場所:ヒルトン名古屋
	平成20年09月19日	MF14 創設		場所:名古屋市教育センター分館(教育館)
	平成20年11月03日	レク:ソフトバレーボール	30名	場所:アルコ清洲
	平成21年01月17日	ASN新年会・名刺交換会	64名	場所:名古屋ガーデンパレス
	平成21年04月04日	レク:船上お花見会	33名	場所:納屋橋~名古屋港
	平成21年05月15日	第2回 合同ソフトボール大会		場所:鶴舞公園 MF8とビジネスモデル研究会の合同
	平成21年06月27日	イベント:一泊キャンプ	25名	場所:旭高原元気村
	平成21年07月25日	第8回 ASN定時総会・懇親会	35名	場所:名古屋会議室・プラスリー エスベランス

それまで明確にされていなかった、賛助会員のFP資格を、国家資格であるファイナンシャル・プランニング技能士のみに限ることを確認しました。

## 平成20年度

ASN公式サイトを、独自ドメイン(asn-web.net)を取得して、より情報量が豊富で、格調高いものへとリニューアルを行いました。



# 10周年記念事業実行委員会 編集後記



**石田 昌宏 (公認会計士・税理士)**



このたびの10周年記念事業では、パーティーは西山さんが、記念誌は小林さんが中心に進められ、委員長である私は随分と楽をさせていただきました。  
これもASNがしっかりした組織である証拠だと感じています。ASNが今後とも、特に若手士業にとって有意義な会であり続けられることを願っています。

**鷲野 直久 (公認会計士・税理士)**



年表を見ていると、ASNという名前を決めた頃、石田さんは20歳代で、私もまだ30歳代だったんだな・・・と「歲月人を待たず」の感を覚えます。  
子供がすでに成人し、士業業務にも保守的になりがちな最近ですが、今後も好奇心をもってASNの新旧メンバーと交流していきたいと思っています。

**可児 晃 (弁護士)**



ASN10周年、おめでとうございます。今回、10周年記念委員会の委員として運営に関与させていただくなかで、改めて、皆様のASNへの熱意と愛情を実感することができ、感激しております。  
今後も、ASNで出来た人のつながりを大切にしたいと思っています。

**山田 智博 (司法書士)**



みなさん、10周年記念パーティーは楽しんで頂けたでしょうか。ゲームの問題はどうでした？私の提案した問題は全てボツとなりました！(涙)。平成15年にASNに入会し、開業して8年目。今の自分があるのもASNで出会った方々のお陰と感謝しています。あと、西山さん！毎回呑みながらの委員会は楽しかったです！

**鳥居 翼 (税理士)**



私が会長を仰せつかった時に「10周年記念事業をやらう」という話が出てきました。それから1年半。記念式典のみならず、記念誌まで完成させることができました。ここまで、あつという間の出来事のように思えます。記念事業に携わった先生方、お疲れさまでした。あまり協力できず申し訳ありませんでした・・・。

**山田 洋嗣 (弁護士)**



この記念誌には、ASNの歴史や、これまでの先輩会員の皆様のご苦勞、現在の活動内容等が詳しく載っていて本当に充実の出来栄えだと思えます。これを見るとASNという「場」は本当にいろいろな人のご協力に支えられているのだなと思いました。この場を借りて、重ねて厚く御礼申し上げます。

**堤 達彦 (税理士)**



ASN10周年おめでとうございます。MF10の立ち上げから参加して5年、この会に巡り会えたことをとても感謝しています。今後もASNが益々発展しますように！  
最後に実行委員会のみなさま本当にお疲れ様でした。

**石子 智子 (行政書士)**



初めてASNに参加した時は、ほとんど士業の知人がいなかったのですが、ASNのおかげで今では多くの方と知り合うことができ、本当に感謝しております。後半の一番大変な時に全くお手伝いができず申し訳ありませんでしたが、委員の皆様のご尽力のおかげで素敵な記念行事になりました。ありがとうございました。

**伊藤 舞 (社会保険労務士)**



自分はまだまだ下っ端だと思いましたが、気がつけば、私も入会6年目を迎えています。士業と言え、我が道を行く方が多いだけに、バラバラになりがちな会を10年にも渡り支えてくださった歴代の会長や理事、幹事の方々には頭が下がります。感謝を込めて、ありがとうございました ♡

**水野 善弘 (行政書士)**



私が事務所を開業してからの、この4年間は、ASNとの4年間といっても過言ではありません。この間、可能な限りASNの行事に参加させていただきました。そのおかげで、本当に楽しく充実した4年間となり、また、多くの信頼できる方々との出会いもありました。ASNにはたいへん感謝しています！

**仙田 浩人 (税理士)**



私がASNに加入して4年、自分の中ではそろそろ引退かと思っていたのですが、今回10周年記念委員会に参加して、まだASNには、足を踏み入れていないMFや、お会いしていない先輩方が多いということを実感しました。皆さんが大事にしてくれたASNを、これからも共有の財産として受け継いでいこうと思います。

**勝友 香梨 (行政書士)**



今から約4年前、初めてMF10の勉強会に参加したことがASNとの出会いでした。ASN本体のレク委員や事務局長、そして今回は10周年記念行事の実行委員にお声をかけていただき、素晴らしいメンバーとともに楽しい時間を過ごすことができました。実行委員の皆様、そしてASN会員の皆様とのご縁に感謝♪

## 西山 一博 (弁護士)

このたびASN10周年記念事業実行委員会の事務局長という立場で、本記念行事を全般的に検討する役割をさせていただくことになりました。



ASNも10周年を迎え、ASNの基礎を作り、古くから関わっている方や、最近入会して会を盛り上げている方、MFだけに参加している人、全体行事によく参加している人、男性、女性を問わず、ASNも様々な人たちによって支えられ、運営されるようになってきました。

10周年記念行事を企画させていただくにあたり考えたことは、「楽しいこと」と「様々

な人に参加してもらおうこと」でした。

この原稿を執筆している今は、まだまだ記念行事当日までやることのある段階で、はたして当日に思っていたように実現できるかどうか分かりませんが、節目の10周年が、今後さらに素晴らしい会へと進化するきっかけの一つになればと思っています。

これまで私は、ASNで旅行に行ったり、スポーツをしたりと、かなり楽しませていただきました。今後もASNにおいて「楽しいこと」「やりたいこと」をしていきたいと思っています。

これからも、そんな自由で楽しい会であり続けられればいいなと思います。

## 松本 拓也 (税理士)

10周年記念事業実行委員会の皆さま、ご協力いただきましたASN会員の皆様、お疲れさまでした。改めて御礼申し上げます。



今回、私も実行委員として色々お手伝いをさせていただき（大変なこともあったが・・・）、改めてASNと自分を振り返る、いい機会になりました。今の素直な感想は「居心地の良さに気がつくと7年もの月日が流れていた！」そんな感じです。気持ちは未だ7年前のまま止まっておりますが・・・。

入会当時に知り合ったメンバーに、たまたま近い世代が多かったこともあり、勉強会の後の懇親会がとても楽しみでした。お酒を飲みながら（時には終電を気にしながら）、夢や悩みを語り合ったことが、つい昨日のこのように思い出されます。

ASNは、他にあまり類を見ない、士業に限定した個性あふれる異業種交流会です。これからも、会員の皆様との素敵な思い出が増えていくことを、楽しみにしております。

最後になりましたが、ASN会員の皆様、ならびにASNのますますのご発展をお祈りいたします。

## 小林 雄気 (税理士・社会保険労務士)

石田会計事務所に入って、ASNの事務局のお手伝いを始めたのが、税理士試験に合格した平成16年の冬のことでした。



それから5年。年会費の自動振替導入の時に、執行部のオブザーバーとして参加したことで、ASNの役員もやらせていただきました。

昨年7月、懸念であったASNサイトのリニューアルを完成させて、肩の荷をおろしたつもりでいた私の元に、西山さんから「記念誌を作るようになったから、編集長をしてくれませんか？」との一本の電話が・・・。さすがにASNの大御所からのお願いを断ることなんか出来ませんよね（笑）。

編集に当たって、一番印象的だったのは、会長座談会です。テープ起こしに6時間、文章として読みやすくするのに、また6時間。大変な作業でしたが、ASNの歴史が分かる良いものになったと自負しています。かなり長いものになりましたが、私の苦勞を感じつつ、ぜひ皆さん読んでみて下さいね（笑）

さて、また10年後にはASN20周年記念誌を作成することになるかと思っています。その時には、私も47歳。若い方達を作るものに、偉そうにダメ出し出来る立場になりたいものです。まさか、その時も編集をやっているなんてことは無いですよ！？（苦笑）

最後になりますが、寄稿していただいた皆様のお陰で良いものを作り上げることが出来ました。本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。